

早良南部地域における交流人口の拡大による地域活性化事業について

早良南部地域活性化事業実行委員会

1. 事業の背景と目的

事業初年度である平成 30 年度は、地域ワークショップ・意見交換及びその結果を踏まえた事業者ヒアリング等により、新たな交流促進を実現するためのプログラムとしての「地域づくりプラン」について取りまとめを行った（参考資料①：平成 30 年度事業概要版）。そして、市街化調整区域の土地利用規制やその規制緩和を踏まえつつ、地域の様々な資源を活用し、地域の住民や校区内事業者と都市部の事業者が連携することによって、この「地域づくりプラン」の実現可能性や地域活性化への波及効果が高まることを確認した。



地域ワークショップ

2 年目となる令和元年度においては、とりまとめた「地域づくりプラン」の試行・検証を行った。その試行するプラン（以下、試行プログラム）の実施に向けては、平成 30 年度にワークショップやヒアリングで協議した地域住民・団体や事業者を中心に継続的な対話を行いながら、企画内容や関係者の役割分担を設定した。また、その企画内容や役割分担は、将来的に事業主体となる組織や体制の構築、及び持続的な事業化への展開を見据えたものとして検討した。さらに、試行プログラムの成果については、都市と農村の交流の事例集として取りまとめ、新たな活用を推進するための周知・広報へと展開するものとする



事業者ヒアリング

●平成 30 年度の成果を踏まえて、想定する試行プログラムの例

①「農・食」をテーマとしたプログラム

- ・都市部事業者との連携による農体験や遊休地の有効活用（顧客サービス・福利厚生・企業 CSR 等における農体験の取組づくり）
- ・地域産材を活用した農作物や加工品のブランド開発
- ・農作物における付加価値づくりや新しい作物の栽培



農体験

②「アウトドア・健康」をテーマとしたプログラム

- ・事業者主催ウォーキングイベントの開発とイベント時の地域 PR 活動
- ・アウトドアの魅力を PR するイベントの開発
- ・曲淵小学校を活用した取組づくり



ウォーキングイベント

③既存イベントの活性化プログラム

- ・事業者連携による地域集客イベントの活性化

④店舗に関する規制緩和を活用した取組を進めるプログラム

- ・事業者向け意見交換会の開催

⑤住居に関する規制緩和を活用した取組を進めるプログラム

- ・規制緩和制度の活用に向けた地域部会の設置と空き家・空地の情報収集
- ・地域運営のゲストハウス検討部会



空家の情報収集

2. 共働のきっかけと必要性

①共働のきっかけ

早良南部3校区（脇山・内野・曲渕）は、背振山系に囲まれた自然や清流を活かした豊かな農地が広がり、また、特徴的な歴史・文化を有する地域である。そして、それらを活かした多彩なイベントや特産品が魅力となっており、都市部へのアクセスも良好な場所となっている。これまで、早良区と各校区によって構成されるまちづくり組織「早良みなみ塾」の取組みにより、地域資源を活かすための活動が推進されてきた。一方で、少子高齢化や人口減少が進み、今後の「交流人口の増加」、「自然・農村の魅力の活用」、「地域・事業者との共働の体制・仕組みづくり」が重要な課題となっている。



さわらの秋

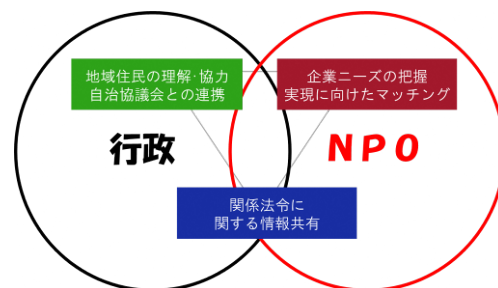
そこで本事業では、持続可能な早良南部地域の新しいまちづくりにむけた共働の体制づくりや持続性・実効性の高い事業構築を目標とし、魅力ある地域資源や既存ストックの活用策を、地域内外の様々な市民や団体・事業者等と共に検討することとした。活用策の検討は、市や地域の取組と連動し、市街化調整区域の規制緩和に関する新制度の運用を見据えながら、進めていくこととする。



早良みなみマルシェ

②共働の必要性及び役割分担

2年目となる本年度は、昨年度検討した「地域づくりプラン」の試行・検証を、地域と事業者との連携によって進めていく。その試行・検証を進めるにあたっては、プログラムの企画や運営、実施体制づくりに関わる地域住民及び団体・事業者間の調整、周知・啓発や行政手続きなど、幅広い対応が必要となる。



主にNPOとしては地域・事業者連携によるイベント実施や合意形成に関わるノウハウを、市としては地域等への周知や庁内調整等のノウハウを活用し、試行しながら成果をとりまとめることで、実効性の高い事業の実現に向けた取組みとして、効果的に地域内外への意識付けを行うことができる。具体的な役割分担は以下の通りである。

<NPOの役割>

- ・地域及び都市側（各種団体や事業者等）のニーズを踏まえた、地域の魅力資源や既存ストックの活用拡大に向けた新しいまちづくりの取組の継続的な検討
- ・校区外事業者や地域住民とのマッチングによる試行プログラムの実施
- ・市街化調整区域の新制度を活用した、校区外事業者等の受け入れのための地域の合意形成の仕組みづくり

<福岡市の役割>

- ・地域（校区住民、自治協議会、公民館、町内会）との連絡・調整
- ・試行プログラムの実施や新制度活用に向けた庁内調整及び行政手続き
- ・市街化調整区域の開発規制緩和策等の新制度に関する周知啓発

3. 事業目標

本事業の事業目標及び成果指標は以下の通りである。

事業目標1 試行プログラムの実施によるまちづくりプランの検証

地域と事業者が連携した試行プログラムを実施し、継続性や地域活性化への波及効果などの検証を行い、まちづくりプランの見直しを図る。

事業目標2 新たな事業者ニーズの取りまとめとプランづくり

事業者ニーズの把握を継続的にを行い、地域とのマッチングを目指した新しい活用のプランを行う。

事業目標3 地域内における周知啓発

地域における既存のイベントや都市部の集客施設等において、制度や取組周知に向けた広報活動を行う。また実施した試行プログラムを事例集としてとりまとめ、周知・啓発ツールとして活用を図る。

成果指標として昨年度設定した①ワークショップへの参加者数、②アンケートを実施した事業者数、③ヒアリングを実施した事業者数、④試行プログラムの実施数に加えて、今年度は⑤地域イベントや事業者と連携し、取組を周知した回数、⑥新たに連携した事業者数を追加した。

<成果指標>

成果指標	目標値		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①ワークショップへの参加者数	120	120	120
②アンケートを実施した事業者数	30	40	50
③ヒアリングを実施した事業者数	5	10	15
④試行プログラムの実施数 ※	0	2	6
⑤イベントや事業者と連携し、取組を周知した回数	-	3	5
⑥新たに連携した事業者数	-	4	8

※平成30年度事業で把握した地域ニーズを踏まえ、空き家や遊休地といった既存ストックの活用のみならず、交流人口の拡大の視点で広く実施することとした

また、事業目標の実現に向けた事業内容及び実施フローは以下の通りである。

事業内容① 試行プログラムの運用による取組・体制づくり

平成 30 年度の成果を踏まえ、地域住民・団体・事業者が連携する取組みを試行する。

事業内容② 事業者マッチングに向けた意向調査

平成 30 年度にできたネットワークの質を高めていくため、継続して意向調査を実施する。

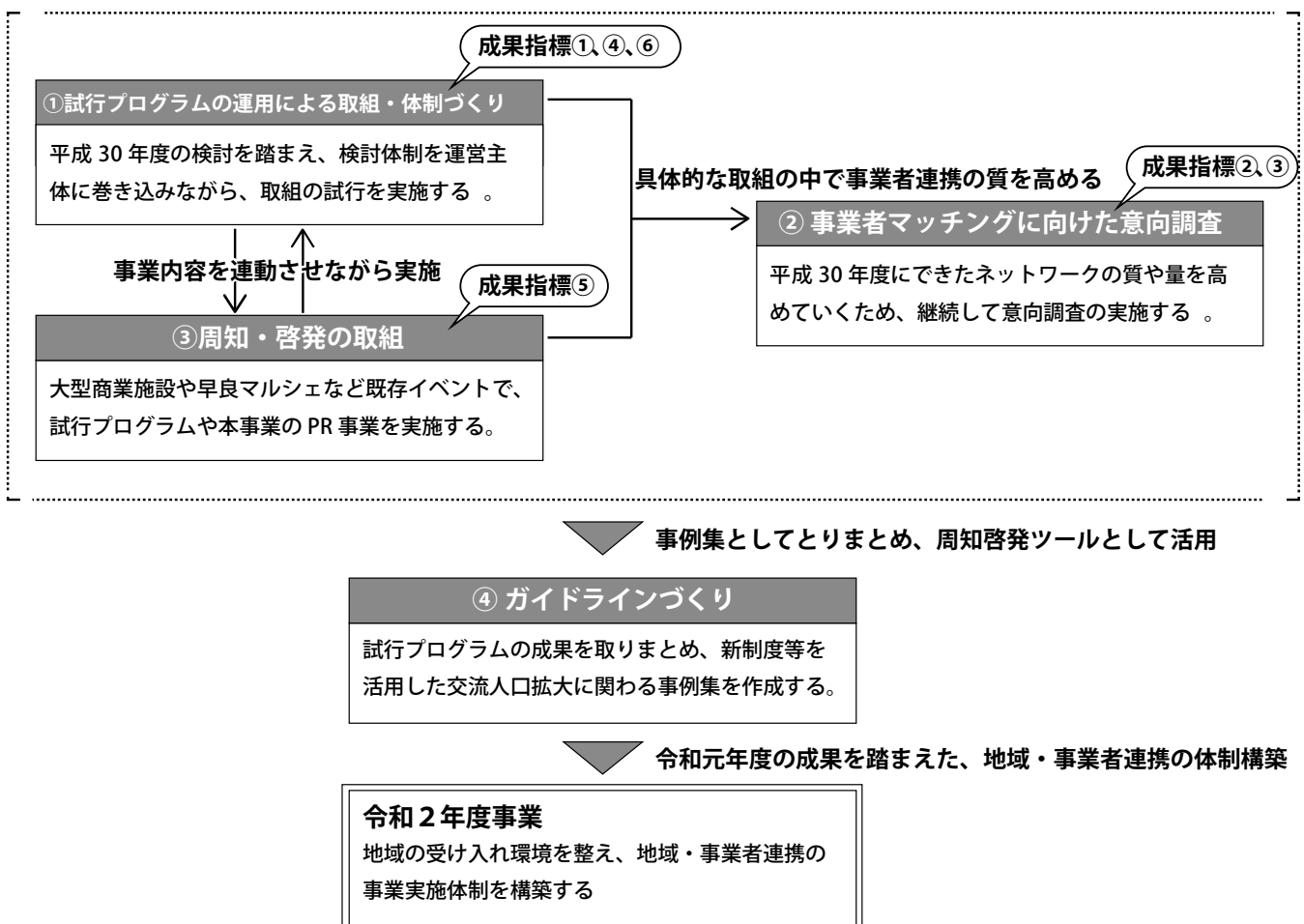
事業内容③ 周知・啓発の取組

大型商業施設での集客イベントや早良マルシェなどの地域イベントで、試行プログラムや本事業の PR を行う。

事業内容④ ガイドラインづくり

試行プログラムの成果を、新制度等を活用した交流人口の拡大に向けた取組みの事例集としてとりまとめる。

実施フロー



4. 事業内容

事業内容① 試行プログラムの運用による取組・体制づくり

平成 30 年度の成果を踏まえ、地域住民・団体・事業者が連携する取組みを試行する。ここでは、昨年度の成果を踏まえて設定したテーマ毎の部会（農・食、アウトドア・自然、既存の取組みとの連携）により進めていくものとする。

■農・食をテーマとしたプログラムの実施状況

試行プログラム 1 「近隣大型商業施設による脇山茶の茶摘み・茶もみ体験」

試行プログラム 2 「近隣大型商業施設による紅茶づくり体験」

地域の連携主体：脇山校区の若手農家の団体

実施事業者：近隣大型商業施設の管理運営者（事業者 A）

事前協議の概要

協議日程：2月12日※、6月17日 ※実施は昨年度だが、今年度の事業内容の協議

参加者：脇山校区の若手農家の団体 1 名 事業者 A 3 名 実行委員会 3 名



事業者ヒアリングの様子

団体	事業者 A の意見	脇山校区の若手農家の団体の意見
事業に対する意向	- 春先のイベントで親子向けの新たな体験型イベントを実施してみたい。 - イベントの告知、参加者の募集や受付、また当日の誘導等に関しては、事業者 A 側で行う予定である。 - 地域貢献事業の一環としての目的もあるため、農作物等の地域資源は積極的に P R してほしい。また、当日の直売等も行してほしい。	- 自分たちが運営している農体験プログラムに、5 月上旬に実施している茶摘み・茶もみ体験や 7 月中旬に実施している紅茶づくり体験がある。 - イベント参加人数を増やしたい一方で、運営人数に限りがあるため、協力してもらえると助かる。 - 参加者が来てくれるのであれば、脇山校区の紹介や自分たちが生産しているお米や紅茶、ジェラート等の 2 次製品を P R をしたい。
事業の進め方	- 実施日に関しては 5 月の GW は施設が繁忙となるため、避けたい。 - 参加者の費用は、事業者 A のサービスとして実施するため、事業者 A より直接支払いを行う。 - 施設内で体験できるプログラムを検討してみたい。	- 茶葉の適期としては 5 月上旬であるため、調整が必要である。 - 紅茶づくりに関しては 7 月中旬であるため、今後調整したい。 - 初めての試みであるため、資材や事前準備、当日運営などを含めて、費用を検討したい。 - 紅茶づくり体験は、前日から準備できれば施設内での実施は可能である。

実施の結果

試行プログラム 1 「近隣大型商業施設による脇山茶の茶摘み・茶もみ体験」

実施日：5月17日 ※悪天候による直前の中止 実施場所：脇山公民館

運営手法：事業者Aのスタッフが今後の顧客サービスでの実施に向けて試行的に参加

試行プログラム 2 「近隣大型商業施設による紅茶づくり体験」

実施日：7月21日

実施場所：事業者Aの管理する商業施設

参加人数：16組 24名参加

実施費用：¥65,000（材料代・人件費等 事業者Aより若手農家の団体へ支払い）

運営手法（役割分担）

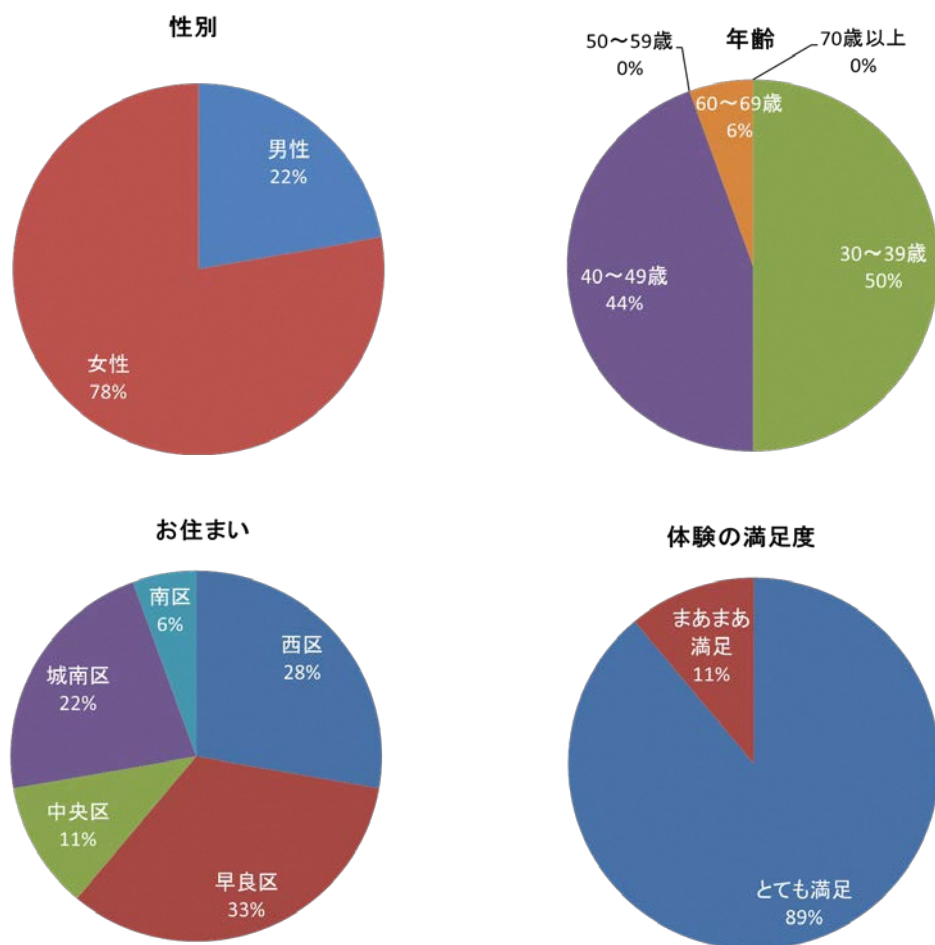
	内容	担当主体	内容
事前準備	①企画調整	実行委員会	・役割分担の調整 ・企画内容の調整 ・費用等の交渉
	②イベント告知	事業者A	・施設内でのイベント案内の掲示 ・SNS（Line）による登録者への通知
	③受付・案内	事業者A	・実施1週間前に施設内で直接の受付
	④実施日までの連絡	事業者A	・天候等による延期や実施場所の連絡通知等 等を電話で行う
	⑤準備物の購入	若手農家の団体	・出張での紅茶づくり体験に向けた新規での 購入資材等
	⑥茶葉の準備	若手農家の団体	・参加人数分の事前の茶摘み作業
当日運営	⑦参加者受付	事業者A	・当日参加者の受付
	⑧イベント主旨の説明	実行委員会	・共働事業の説明
	⑨体験内容等の説明	若手農家の団体 補助：実行委員会	・脇山校区や生産物に関する説明 ・体験内容の説明（実演）
	⑩振り返り・アンケート	実行委員会	・体験の満足度等に関するアンケート



紅茶づくり体験の様子

参加者へのアンケート（参考資料②：紅茶づくり体験アンケート）で確認された満足度や意見は以下の通りである。

参加者属性・満足度



アンケートから確認できた内容

- 30代、40代の親子参加が9割以上を占めており、事業者Aの要望であった、親子向けの体験推として高い満足度となるプログラムが提供できた。
- 今回の体験参加を通じて、脇山校区や脇山の生産物への興味が高まり、脇山校区への来訪のきっかけづくりとなる可能性があることが確認できた。
- 製品のみを提供するのではなく、参加者自身の手で作っていくプロセスを体験させることで、子どもへの教育や楽しみを高める効果があることが確認できた。
- 紅茶の発酵時間の合間に施設内で買い物ができる等、商業施設自体の利用促進に貢献できる取り組みとして実施できた。
- 茶葉にさわりながら、茶葉の色を目で見て、変化する香りを楽しみながら、最後は試飲できる、五感を楽しませるイベントとしてとても喜ばれた。

〈参考〉参加者の意見（抜粋）

○印象に残っていること

- ・子供に売られている状態ではなく、作り手のおもいや、物にかける情熱、労力を伝えてもらえることができ嬉しかった。
- ・福岡市内で紅茶が作られていること。
- ・緑の葉から茶色の紅茶ができること、葉から紅茶の香りがしたことに驚いた。
- ・脇山でお茶を作っているということを知らなかったので、発見だった。
- ・身近に紅茶の産地があって驚いた。
- ・茶葉をもんでいる時から香りがすることを初めて知った。発酵した後に、すぐ紅茶の香りがして、煎っている間も良い香りだった。
- ・緑の茶葉がこのような工程を経て紅茶になっていくのか、というおもしろさがある。
- ・手作りだと、人によって仕上がりが変わるのが楽しい。茶葉は同じでも緑茶や紅茶になるのは知っていたが、やるのとでは違い楽しかった。
- ・手間暇かけて造られていると感じた。いい香りで今度から紅茶も含め、商品を頂くときに気持ちが違ってくると思った。

○良かったこと（悪かったこと）

- ・なぜ、紅茶をつくっているのか、これまでどうで、これからどうしたいのか、親として教えられないことを沢山教えてもらえて良かった。
- ・子ども達に体験させることができた。手作りの大変さを実感した。
- ・親子で茶もみをしっかり楽しめたのが良かった。
- ・家族が体験することができて楽しかった。
- ・紅茶が出来上がる過程がよく分かって良かった。
- ・こどもが集中して茶葉をもんでくれた事。
- ・説明が丁寧で分かりやすく、とても参考になった。
- ・基本全て、自分で最後まで出来たことが良い。満足感。子供も参加が最初から分かっていたので、少し小さな軍手があったほうが良いと思う。
- ・なかなか体験できないこと、お話を伺えて有意義で楽しい時間であった。

○スタッフへのメッセージ

- ・行ったことないので、脇山にもいってみようと思った。
- ・とても分かりやすいご指導ありがとうございました。脇山の道の駅へも行ってみたいと思う。
- ・紅茶づくりの背景など、脇山のことを知ることができて良かった。
- ・また開催してほしい。
- ・夏休みの研究の題材になった。
- ・紅茶が出来上がる過程がよく分かって良かった。
- ・お米もおいしくてワッキーへ時々買いに行きたいと思う。次はお茶にもトライしたい。
- ・また、参加したいので毎年開催してほしい。
- ・いろいろな工夫やご努力をされて良いものを作られようとするお気持ちが伝わった。

試行プログラム3「近隣大型商業施設での産直市」

地域の連携主体：脇山校区の若手農家の団体

実施事業者：近隣大型商業施設の管理運営事業者（事業者A）

事前協議の概要

協議日程：2月12日※、4月17日 ※実施は昨年度だが、今年度の事業内容の協議

参加者：脇山校区の若手農家の団体1名 事業者A3名 実行委員会3名

団体	事業者Aの意見	脇山校区の若手農家の団体の意見
事業に対する意向	施設内のスーパー等と連携しながら、施設全体での産直イベントを運営したいと考えている	産直イベントであれば、南部地域で活躍している農家同士で出店することができると思う
	施設内の広場スペースでの実施を想定しているが、5店舗程度の受け入れはできると思う。	共同での出店で5団体程度は声が欠けられるため、調整を図ってみる。
事業の進め方	実施日に関しては9月～10月ごろが良いと思っているがどうか。	農作物の出荷状況から考えると10月下旬以降が良いと思う。最もよい時期を調整してみる。

実施予定の内容

実施日：今年度は両者の日程調整等により開催できず。令和2年度中に再検討を行う。

実施場所：事業者Aの管理する商業施設

参加人数：不特定多数（来館者）



商業施設での産直市のイメージ

■アウトドア・健康をテーマとしたプログラムの実施状況

試行プログラム4「アウトドアブランド・公益財団法人と連携した初心者向けアウトドア講習会」

地域の連携主体：脇山野営場の所有者（公益財団法人）、脇山校区の若手農家の団体

実施事業者：全国に店舗展開するアウトドアブランド（事業者B）

事前協議の概要

協議日程：5月24日、6月7日、7月31日

参加者：公益財団法人3名 事業者B 1名 実行委員会3名



団体	事業者Bの意見	公益財団法人の意見
事業に対する意向	福岡市内にはキャンプ場が不足しており、顧客に気軽に紹介できる場所がない。この脇山野営場が活用できると、様々なイベントの運営ができる。	団体の活動をPRする必要性を感じており、アウトドア関連の事業者と連携して、脇山野営場のような拠点活用を図っていきたいと考えている。
	商品を購入した顧客に向けて、キャンプサイトを紹介していきたい。将来的に市内でのアクセスが良い脇山野営場を活用できれば良いと思う。	一般に向けて開放していきたいという考えはあるが、利用ルールの設定や施設管理場の課題がまだある。法人内で活用していける仕組みを協議していこうと思う。
	野遊びをテーマに参加者には体験をしてもらいたいと思っており、連携できれば良いと思う。	手押し井戸ポンプや薪割り等、活用できる施設は使ってもらって良い。また、自分たちの活動をPRできるような体験をぜひ連携したい。
	店舗が所在する大型商業施設内のアウトドアアパレル同士の懇親会等で使うことはできるか？	事業者の方へのPRの意味もあり、ぜひ使ってほしい。
事業の進め方	10月～11月で実施日を調整したい。	10月中旬までは活動日で埋まっているので、10月下旬以降で調整したい。
	何か連携してできるプログラムがあれば連携したい。	昔ながらのキャンプ設営の仕方を実演するプログラム等がある。協議しながら、考えてみたい。
	女性専用トイレがあると参加者が快適だと思う。	屋外トイレを男性用、管理棟施設内のトイレを女性用で分けると良い。

実施内容

実施日 : 10月26日(土)

実施場所: 脇山野営場(早良区大字脇山 1780-2)

参加人数: 11組31人

参加費 : ¥500(保険代等)

企画内容

①事業者Bによるアウトドア講習会

- ・ ツールームテント、タープテントの設置方法の講習会
- ・ 1家族が快適に過ごせるアウトドアセットの紹介と使い方の講習

②公益財団法人によるアウトドア講習会

- ・ A型テントと竹等の自然素材で作るアウトドアセットの紹介
- ・ テントやタープの設置にも使えるロープワークの講習会

③脇山の特産品を楽しむティータイム

- ・ 脇山産の紅茶の試飲や羽釜で炊いた新米の試食
- ・ 焼きマシュマロを食べながら焚火を囲んでの意見交換会
(本日の感想、野営場の感想、脇山の感想、今後等)

告知方法: 早良区広報誌「さわらの秋P1-2「さわらの自然を楽しもう!」への掲載

運営手法（役割分担）

	内容	担当主体	内容
事前準備	①企画調整	実行委員会	・役割分担の調整 ・企画内容の調整 ・費用等の交渉
	②イベント告知	事業者B	・店頭でのイベント案内
	③受付・案内	実行委員会 事業者B	・早良区広報誌「さわらの秋」で告知 ・事業者Bが店頭及び電話で受け付け
	④実施日までの連絡	事業者B	・天候等による延期や実施場所の連絡通知、持参品等を電話で行う
	⑤準備物の購入・用意	実行委員会	・一部食材、試食などで使うお皿・箸等の消耗品その他
		事業者B	・アウトドア講習会に使用する自社のキャンプ用品等
		公益財団法人	・アウトドア講習会に使用する資機材の準備、当日の新米試食用の窯等
		脇山の若手農家	・試飲用の紅茶、新米等 （イベント参加費より支払い）
当日運営	⑥参加者受付	実行委員会	・当日参加者の受付
	⑧イベント主旨の説明	実行委員会	・共働事業の説明
	⑨企画内容の説明	事業者B	・体験内容の説明
	⑩事業者Bのアウトドア講習会	事業者B	・詳細はP 1 1
	⑪公益財団法人のアウトドア講習会	公益財団法人	・詳細はP 1 1
	⑫脇山の特産品を楽しむティータイム	脇山の若手農家	・詳細はP 1 1
	⑬焚火を囲んでの意見交換会	事業者B	・詳細はP 1 1
	⑭振り返り・アンケート	事業者B	・体験の満足度等に関するアンケート ・後日、事業者よりメールで依頼



事業者Bのアウトドア講習会準備



公益財団法人のアウトドア講習会準備



会場全景（脇山野営場）



事業者Bのアウトドア講習会



休憩中の脇山茶の試飲



手作りでのキャンプ講習



脇山の白米試食体験



焚火を囲んで意見交換

アンケート結果基本情報 ①アウトドア講習会

【調査日】 令和元年 10 月 26 日（土）

【対象者】 イベント参加者

【調査方法】 イベント実施後、後日メールで依頼

【回答総数】 7 人

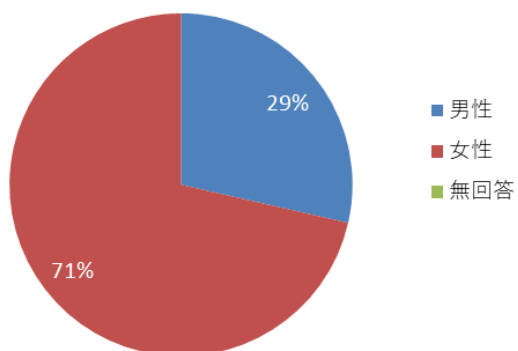
アンケートから確認できた内容

- 30 代、40 代の比較的若い世代を地域に呼び込むことができた。
- ほとんどの参加者がキャンプ経験が少なく、事業者Bの要望であった、初心者向け体験として高い満足度となるプログラムが提供できた。
- 組立の説明や実際のキャンプ時に使用した場合のイメージがしやすく、参加者がキャンプをはじめのきっかけづくりとなった。また、商品の購買意欲が高まった参加者も確認できた。
- 子どもの教育の一環としてチームワーク等の集団生活や自然を学ぶ活動への興味が高まった。
- 災害の時などに役に立つ紐の結び方などの学びが喜ばれた。
- 最低限の道具でできるアウトドア等の野外活動の魅力を知るきっかけとなった。また、その活動が知られていないことへのもったいなさを感じる参加者が確認できた。
- 脇山校区のお茶やお米の魅力を知ってもらうことができ、購買意欲の向上につながった。

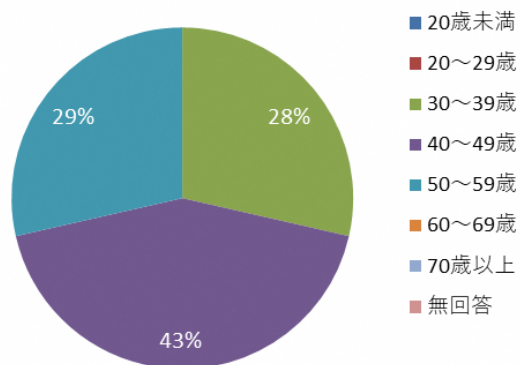
参考：アンケート結果

アンケート回答者 内訳

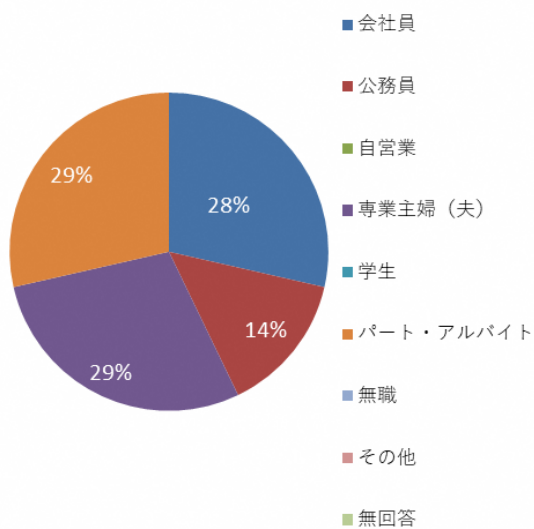
1) 性別



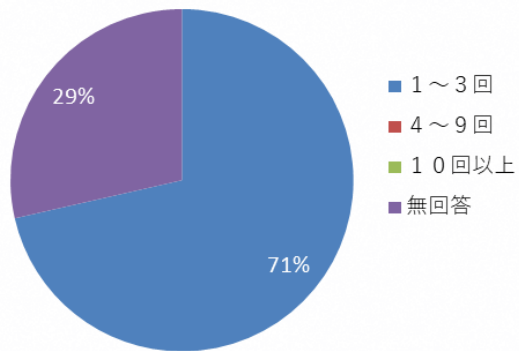
2) 年代



3) 職業

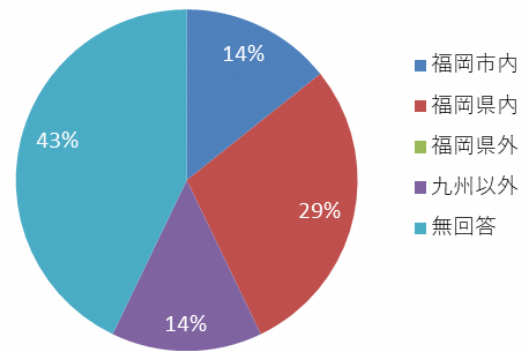


5) キャンプ頻度

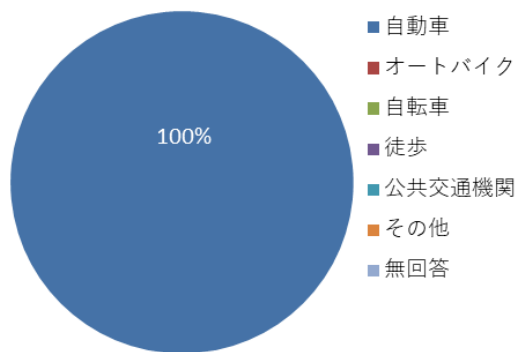


ほとんどが初心者であり、想定ターゲットを呼び込めた

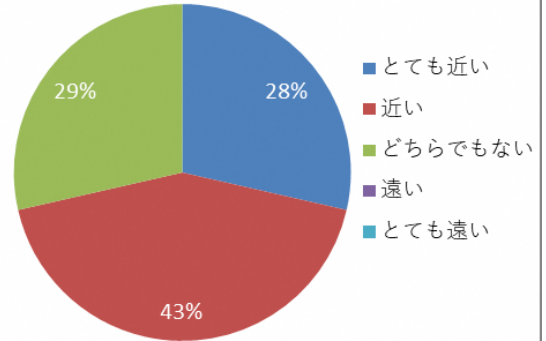
6) キャンプ場所



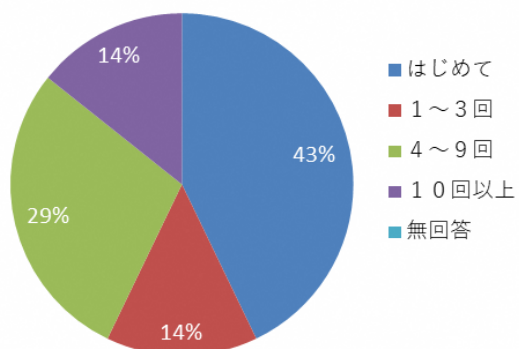
7) 交通手段



8) 所要時間

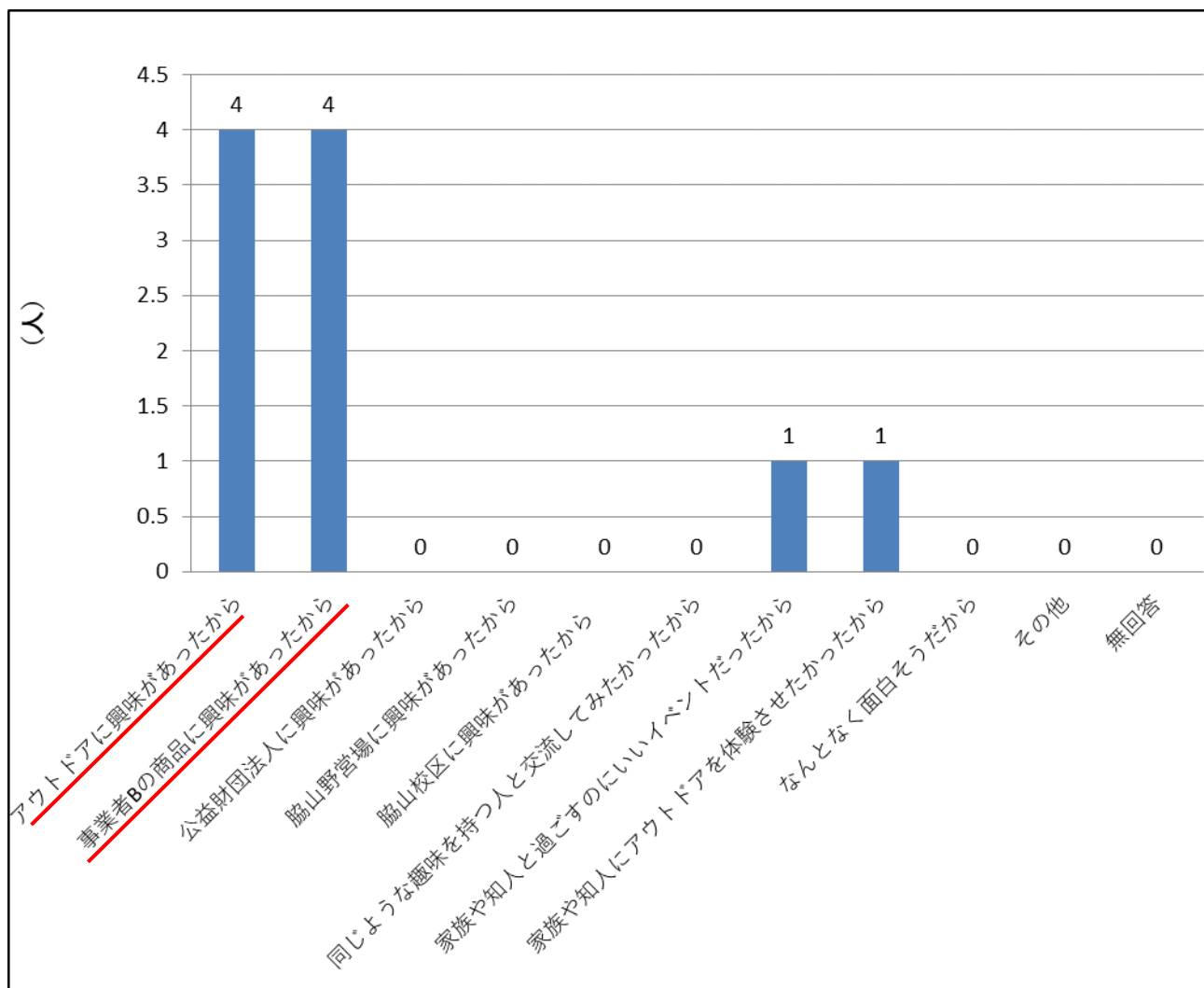


9) 脇山校区の訪問

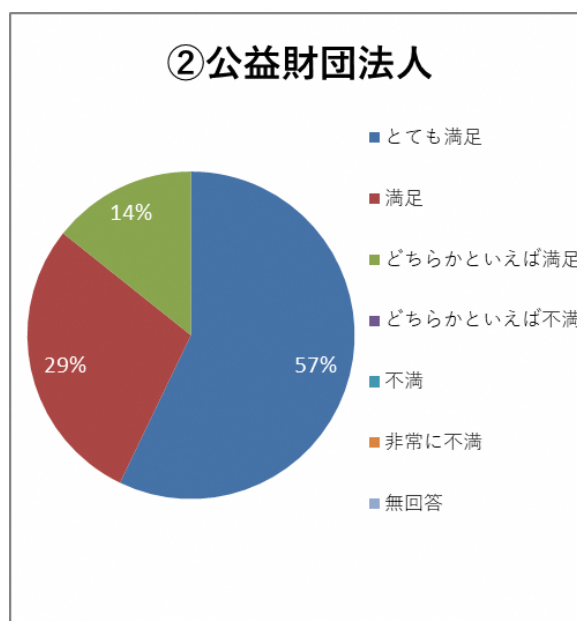
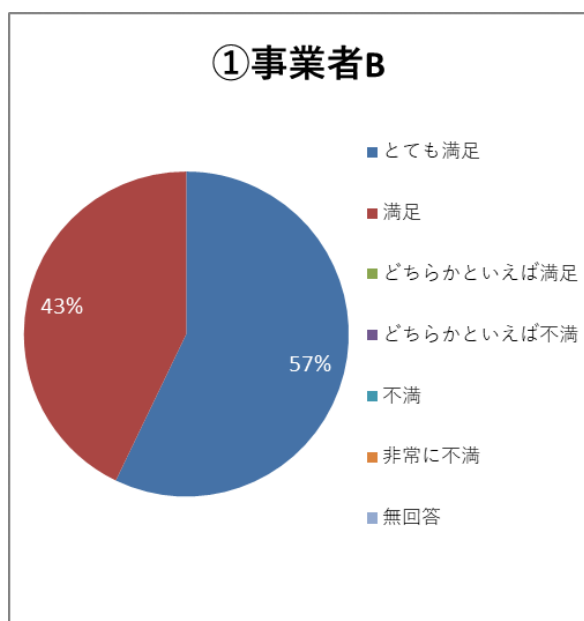


ワッキー主基の里
ボールハウス（野球練習場）

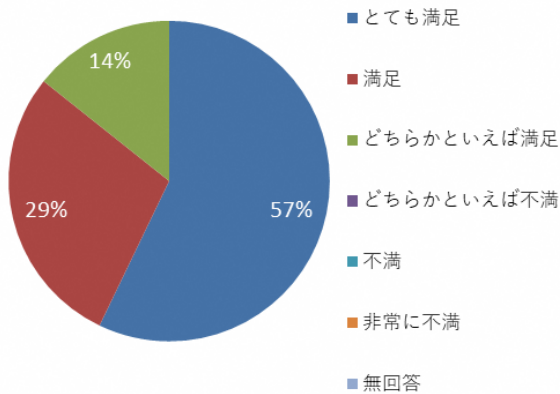
10) イベントに参加した理由は？



11) 各プログラムの満足度は？

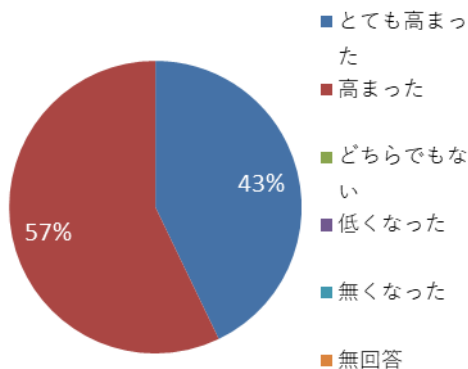


③ 脇山特産品



12) 今回の体験を通じて興味・関心は？

① 事業者B



組立の説明や実際のキャンプ時に使用した場合のイメージがしやすくとても良かったです。

テントの立て方は、思っていたより簡単だった。**以前からキッチン用品には興味があったが、ますます欲しくなった。**

高品質でデザインの的にも優れており、初心者でも簡単に組み立てられそうだったから。

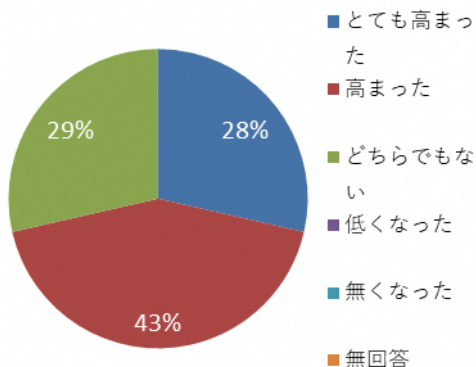
今回使用した焚火台は秋～春にかけてのキャンプでは必需品だと思われるので**購入を検討したい**と思う。**他にもいろんな商品を見てみたい**と思います。

焚き火台 手軽で良さそう。

とても機能的でデザインも良く、初心者にも扱いやすそうに感じたから。

見た目もおしゃれで、機能的だったので。メンテナンスも丁寧にしてくれそうだと感じました。

② 公益財団法人



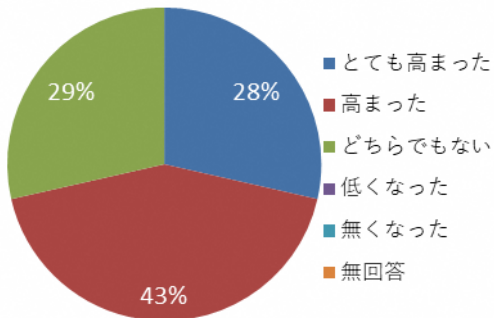
子供の教育の一環としてチームワーク等**集団生活や自然を学ぶ活動にすごく興味が湧きました。**

以前のものを使って工夫し、色々なものを作っていてびっくりした。**災害の時など役に立つと思った。**紐の結び方を教わってとても面白かった。

今回ロープの結び方を教えて頂き大変参考になりました。他にも竹や木を使って**色々な道具作りを体験できればいい**と思う。

最低限の道具で非日常が味わえ気分が良かった。こんなに楽しいのに**あまり知られていないことがもったいない。**

③ 脇山



お米がすごく美味しくて感動しました。

機会があったら購入してみたいと思った。

福岡市内でお茶の生産が出来ると思わなかったので驚きました。**若い人が中心となり脇山地区の農業をよくしていこう**と頑張っているのがすばらしい事だと感じました。

熱意が伝わり、地元民として誇らしい。

店頭でみたら買いたい。

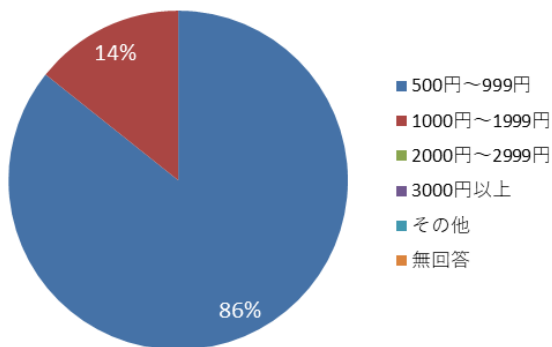
他の地域の商品との差をそれほど感じなかったから。

自然豊かで家族と過ごすのに良いと感じたから

紅茶がとても美味しく、チャイも本当に美味しかったです

14) 参加費として適当だと思う金額は？

14) 参加費



15) 脇山野営場がどのように今後つかわれるとよいか

ファミリーキャンプ、オートキャンプ、デイキャンプ講習会

ファミリーキャンプ

ファミリーキャンプ

アウトドア体験、デイキャンプ、手ぶらでアウトドア

今回のようなアウトドア体験

今回のような講習会、アウトドア体験

今回のような講習会があればとれもいいと思います。アウトドア初心者にはぴったりの内容でした。

16) 次回、こういったプログラムがあると参加するか

宿泊キャンプイベント（参加費は妥当な金額）

アウトドアクッキング

アウトドア体験（物づくり等）

野外料理教室

参加費が多少高くなってもキャンプの最後に皆で作ったカレーを食べたりすることができたら楽しいと思います。

以下の事項について、できれば、参加者一人一人に対して実技の講習をしていただけると良いと思います。

・ＢＢＱ・焚火・ご飯の炊き方について（火起こしのコツや、器具の扱い方・選び方等）

簡単なアウトドアでの自炊（調理）の企画があれば、参加してみたいです。

17) 自由記述

これからアウトドアを始める方にはとても素晴らしいイベントでした。実演して頂けることでイメージし易く、**これからどのようなものを購入すればいいのかイメージを持ててよかった**です。

とても楽しい体験が出来ました。またこのようなイベントがあったら参加したいと思いました。お世話して下さったスタッフの方々ありがとうございました。楽しいひと時を過ごすことができました。

今回は、ボーイスカウトによるロープの使い方及び自然の木や竹を利用した物づくりを体験して、**昔はこんなにしていたことだろうと思いますが今では出来ない人がほとんどだと思います。このような良い体験が出来てよかった**と思います。又、地元の方のお茶や炊き立てのご飯もおいしく頂けてとても感激でした。お世話になりました。

他の**スノーピーク商品をもう少し見たかった**。値段も知りたい。時間配分もよく、**盛り沢山の内容なのに疲れる事なく楽しかった**。少し暗くなって焚き火の良さも味わえた。こちらのミスで手ぶらで参加してしまったにも関わらずよくしていただいてありがとうございました。

今回はとてもお世話になりました。キャンプやアウトドアに興味はありつつも、**初心者で何から初めて良いかわからなかった**ので、**今回のように丁寧に詳しくプロの方に教えていただけてさらに興味がわきました**。また、機会があれば初級・中級編も開催していただけたら、ぜひ参加したいです。楽しい時間をありがとうございました。

以前より家族でキャンプをしたいと思っていましたが、**中々きっかけがなかった**ので、**今回のイベントは大変有意義であり、楽しかったです**。また、今回のようなイベントを行っていただきたく思います。イベントの情報がわかるＨＰ等があれば良いと思います。できれば、イベント情報について、希望者（登録者）個人のメールアドレスにメールで教えてくだされば、大変助かります。

アウトドアをしてみるきっかけになるイベントだと思うので、これからもこのようなイベントをぜひ実施してほしいです。**場所も近くだと参加しやすく、気軽に自然が楽しめてとてもいい**と思います。

試行プログラム4「自転車メーカーと連携した初心者向けサイクリングツアー」

地域の連携主体：早良南部地域の飲食店

実施事業者：全国に店舗展開する自転車メーカー（事業者C）

事前協議の概要

協議日程：5月24日、6月27日

参加者：事業者C 1名 実行委員会2名 早良区役所 1名



団体	事業者Bの意見	実行委員会の連携
事業に対する意向	早良南部は、自然や食が豊かでサイクリストにとっては魅力的な場所である。災害の影響で通行できない道があるが、復旧されるとサイクリストは増えると思う。	実行委員会の方で、自然や食の資源をリストアップする。その配置を踏まえたサイクリングコースの検討ができると良い。
	現在は、女性を主なターゲットとしてサイクリストを増やしていきたいと思っている。女性も参加しやすい初心者向けのイベントや、地域の食も一緒に楽しめるツアー等が良いと思う。	プログラムの実施に向けては、事前に協力してくれる地域の飲食店と調整を図っておく。
	早良南部地域はアップダウンがあり、通常は経験者向けだと思う。ただ、E-bike（電動自転車）であれば気軽に山道も行けるイベントが実施できるので、これまでにない楽しみ方を提供できるかもしれない。	区の事業で脇山には自転車ラックを数か所設置している。サイクリストを増やしていくためにも、協力していきたい。
	地域の食や自然を楽しむ立ち寄りスポットを掲載するような、サイクリングマップ作りなどは、協力できる。	サイクリングマップ自体の作成は実行委員会でも可能であるため、おすすめのコース設定をお願いしたい。
事業の進め方	涼しくなる10～11月ごろのイベント実施が良いと思う。	秋ごろであれば、区の広報誌「さわらの秋」で告知ができる。
	初心者向けのイベントとして、女性も参加しやすいものが良い。新しく女性向けのE-bike（電動自転車）も販売されたので、その試乗も兼ねたものができると思う。	「さわらの秋」に掲載する上で、女性も参加しやすい内容でPRできると良い。
	パン屋や軽食屋など、地域の飲食店と協力できると良い。	実行委員会で調整する。

実施内容

実施日 : 11月9日(土)

実施場所: 百道浜～室見川河川敷～脇山～曲渚

参加人数: 10人

参加費 : ￥500(保険代等) (別途飲食￥2,000程度自己負担)

企画内容

○事業者Cによる秋の早良区を満喫するサイクリングイベント

- ・最新のE-bike(電動アシスト付き自転車)を使った、女性でも気軽に参加できるアップダウンのある長距離ライド。
- ・室見川河川敷や曲渚水源地といった早良区の自然と、蕎麦や豆腐等の早良南部地域の美味しい食事が楽しめるコース。

告知方法: 早良区広報誌「さわらの秋P1-2「さわらの自然を楽しもう!」への掲載

運営手法（役割分担）

	内容	担当主体	内容
事前準備	①企画調整	実行委員会	・役割分担の調整 ・企画内容の調整 ・費用等の交渉
	②イベント告知	事業者C	・店頭でのイベント案内
	③受付・案内	実行委員会 事業者C	・早良区広報誌「さわらの秋」で告知 ・事業者Cが店頭及び電話で受け付け
	④実施日までの連絡	事業者C	・天候等による延期や実施場所の連絡通知、持参品等を電話で行う
	⑤準備物の購入・用意	実行委員会	・食事場所や休憩場所となる飲食店等との事前調整等
		事業者C	・貸出用の電動アシスト付きバイクの準備及び調整
当日運営	⑥参加者受付	事業者C	・当日参加者の受付
	⑧イベント主旨の説明	実行委員会	・共働事業の説明
	⑨企画内容の説明	事業者C	・体験内容の説明
	⑩事業者Cのサイクリングイベント	事業者C	・詳細はP〇
	⑪振り返り・アンケート	実行委員会	・体験の満足度等に関するアンケート



E-bike の乗り方講習



室見川河川敷を上流に向かう



野河内溪谷での散策・休憩



地域からのおもてなし



早良南部のそば屋での昼食



曲渕ダムパークに立ち寄り



早良南部のカフェで休憩



早良南部のカフェでおみやげ探し

アンケート結果基本情報 ②サイクリングツアー

【調査日】 令和元年11月9日（土）

【対象者】 イベント参加者

【調査方法】 イベント終了時にアンケート用紙に記入

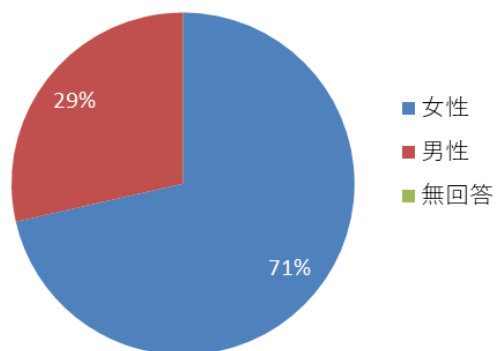
【回答総数】 10人

アンケートから確認できた内容

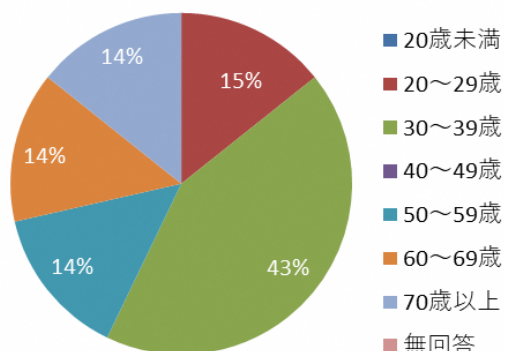
- 20代、30代の比較的若い世代を地域に呼び込むことができた。
- ほとんどの参加者がサイクリング経験が少なく、事業者の要望であった、初心者向けの体験として、高い満足度となるプログラムが提供できた。
- 早良南部に来たことがない参加者が多く、地域に呼び込むことができた。
- 自転車の購入意欲や長距離サイクリングへの挑戦意欲を高めるきっかけづくりとなった。
- 地域の食事ができ、春の桜・秋の紅葉といった季節ごとの景色が楽しめるプログラムへの参加意欲が高いことがわかった。
- 自転車で遠くを気軽に訪れることができる驚きが生まれていた。
- 最新の電動アシスト自転車で山道を簡単に進んでいくことのできる楽しみや、自転車でのスピード感を感じる事が参加者の喜びとなっていた。

アンケート回答者 内訳

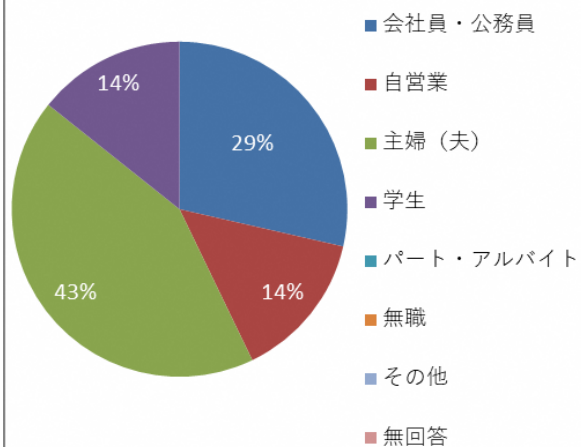
(1) 性別



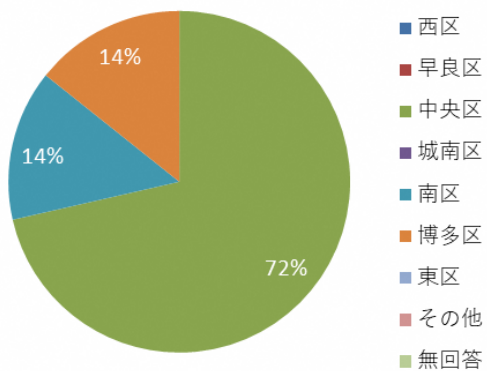
(2) 年代



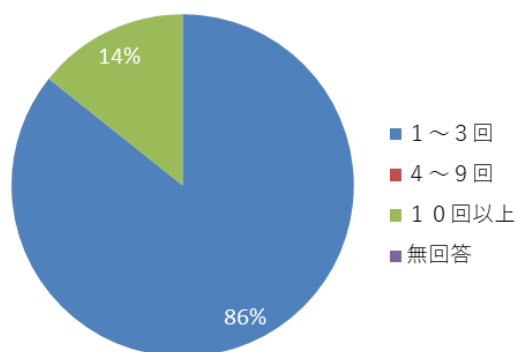
(3) 職業



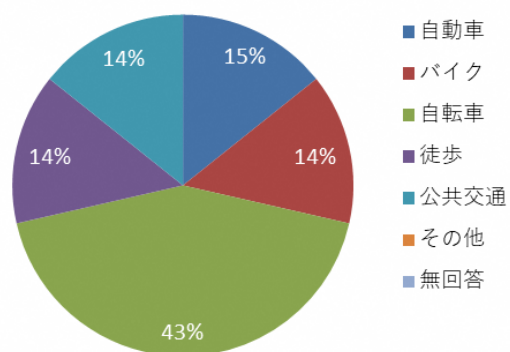
(4) 住まい



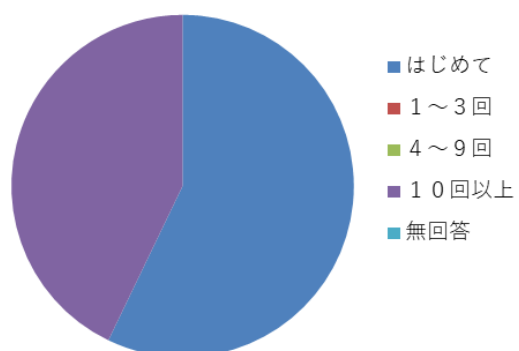
(1) 年間回数



(2) 交通手段



(3) 内野・曲渕校区の 訪問



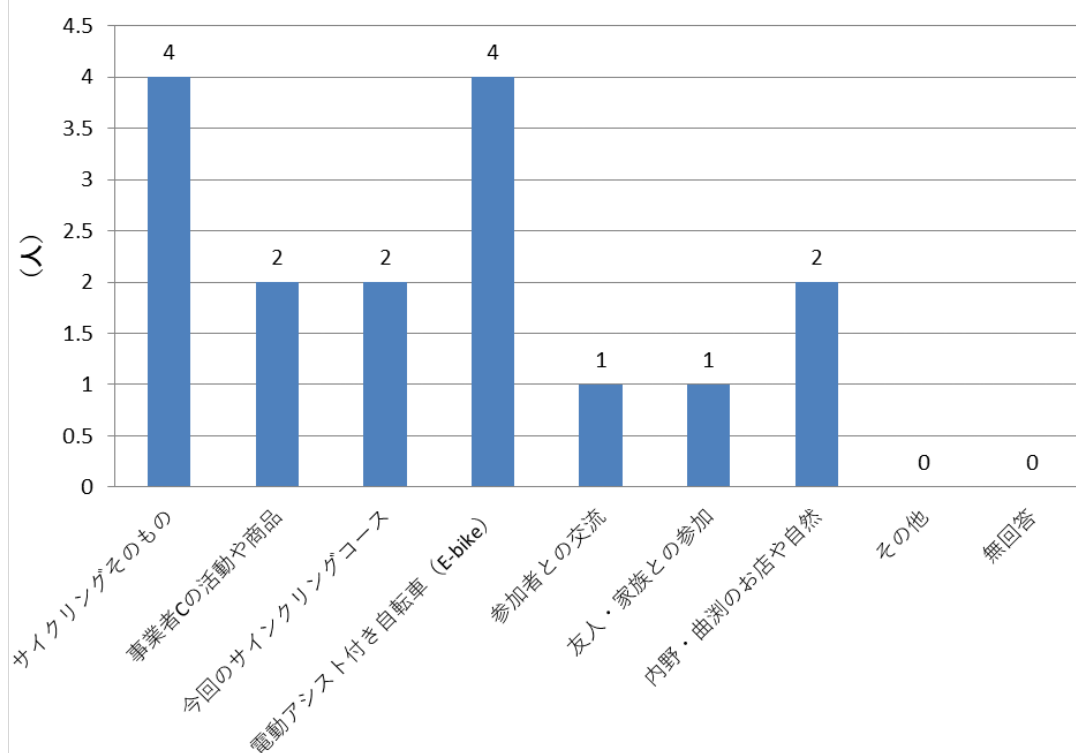
曲渕ダム公園

脇山小学校の近くのイチョウが美しい所

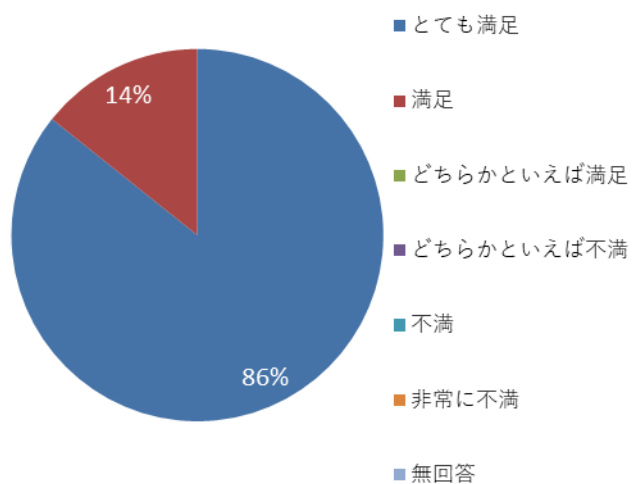
(公園)

今回のイベントに関して

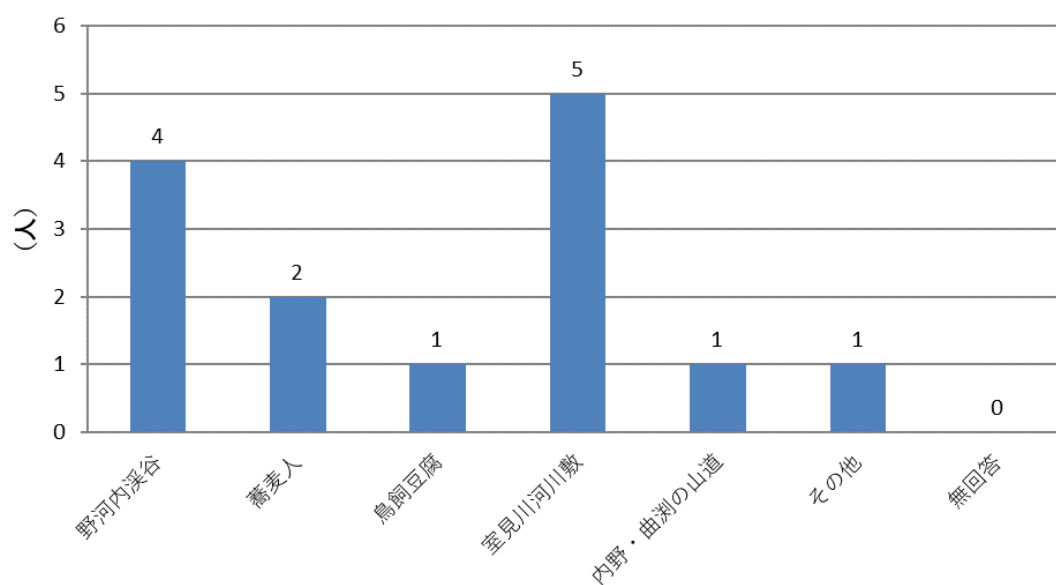
1) イベント参加理由は？



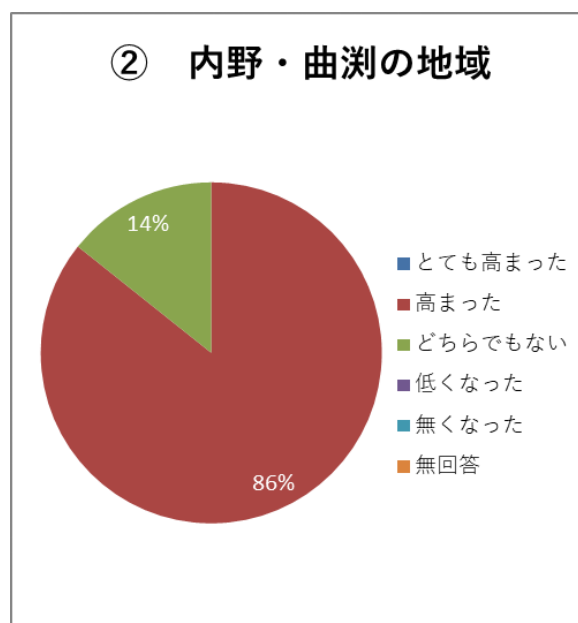
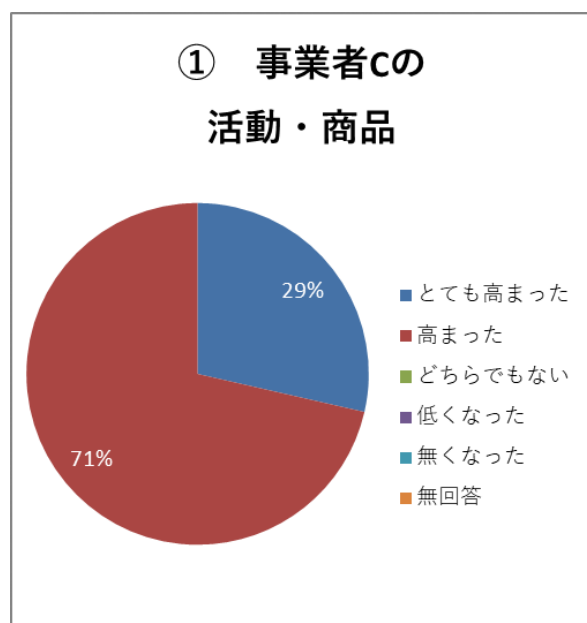
(2) 満足度

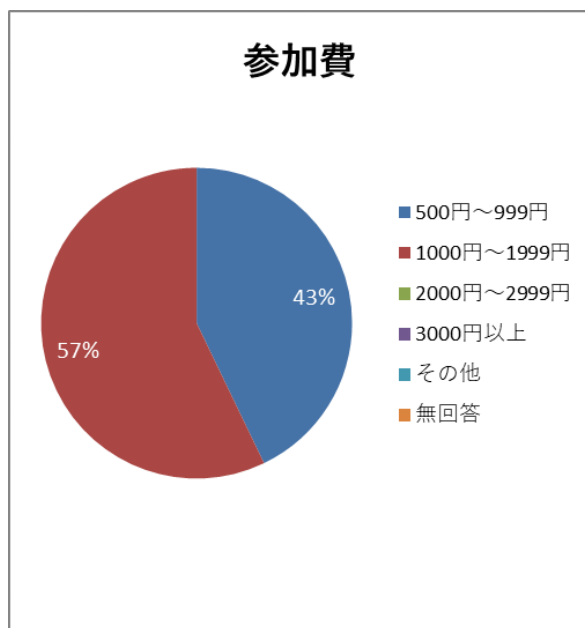


3) 印象に残った場所？



4) 今回のイベントを通じて興味・関心は？





5) 次回、こういったプログラムがあると参加するか

今回のようにサイクリングコースでご当地の食事が出来ること、これから紅葉の季節にもなると思うので、景風を楽しめるプログラム。

今回のように、食事・休憩の時間があり地域の特産品も含めて楽しめるといいと思います。があったら面白いと思った。

今回のようなサイクリング

春の桜、秋の紅葉の時季が良いと思う。

6) 自由記述

山道がると聞き、サイクリングきついイメージがあったけど、楽しんでサイクリングすることができた。自転車でこんなに遠くまで行けることに驚いた。ありがとうございました。

福岡市内にこんなに自然豊かな場所があることに驚いた。また、こんな自然豊かなところに自転車で行けることも新たな気づきだった。

移動手段としてではなく、楽しみとしての自転車に興味が出ました。ありがとうございます。

サイクリングの楽しさを知りました。

電動アシスタント自転車は、高齢者に役に立つのではと体感した。

試行プログラム5「登山ショップと連携した登山プログラム」

実施事業者：様々な登山イベントを実施する福岡市の登山用品店（事業者D）

事前協議の概要

協議日程：6月6日、8月2日

参加者：事業者D 1名 実行委員会2名 早良区役所 1名

団体	事業者Bの意見	実行委員会の連携
事業の 進め方	・背振山系は福岡市内でも有数の魅力的な登山スポットで、登山イベントを今後も行っていきたい。	・自然や健康をテーマとする今年度の区広報誌での掲載など、既存のイベントを盛り上げるようにしたい。
	・公共交通の便の悪さは課題であるので、イベントスケジュールの工夫等が必要である。	・集合場所の調整等、協力できることがあれば対応する。
	・参加者の保険対応などで協力してもらえると助かる。	・実行委員会に対応できる。

実施内容

実施日：10月27日（日）、11月4日（月）

実施場所：脇山・曲渕周辺

参加人数：計17人 参加費：¥500（保険代等）

企画内容

○事業者Dによる初心者向けの登山教室

- ・椎葉から出発する背振山登山コース
- ・金山山頂に向かう縦走コース

さわらの秋（参考資料③：さわらの秋P1－2「さわらの自然を楽しもう！」）への掲載記事

運営手法（役割分担）

	内容	担当主体	内容
事前準備	①企画調整	実行委員会	・役割分担の調整 ・企画内容の調整 ・費用等の交渉
	②イベント告知	事業者D	・店頭でのイベント案内
	③受付・案内	実行委員会 事業者D	・早良区広報誌「さわらの秋」で告知 ・事業者Dが店頭及び電話で受け付け
	④実施日までの連絡	事業者D	・天候等による延期や実施場所の連絡通知、持参品等を電話で行う
当日運営	⑥参加者受付	実行委員会	・当日参加者の受付
	⑧イベント主旨の説明	実行委員会	・共働事業の説明
	⑨企画内容の説明	事業者D	・体験内容の説明
	⑩登山教室	事業者D	・詳細はNPO
	⑪振り返り・アンケート	実行委員会	・体験の満足度等に関するアンケート



企画・コース・諸注意等の説明



登山道沿いの植物に関するレクチャー



背振山頂での記念撮影



尾根道の縦走

アンケート結果基本情報 ②サイクリングツアー

【調査日】 令和元年 10 月 27 日（日）、11 月 4 日（月）

【対象者】 イベント参加者

【調査方法】 イベント終了時にアンケート用紙に記入

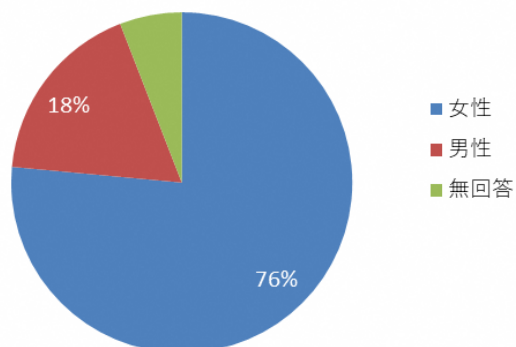
【回答総数】 17人

アンケートから確認できた内容

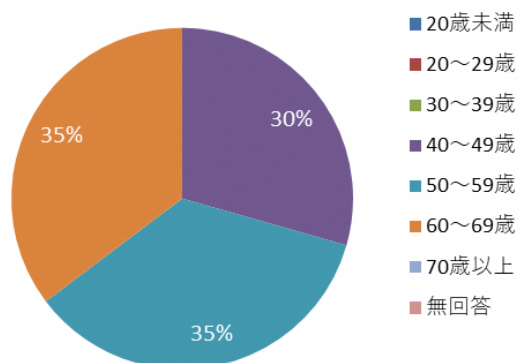
- ほとんどの参加者が登山経験が少なく、事業者の要望であった初心者向けの体験として高い満足度となるプログラムが提供できた。
- 両コースともしっかりとした行程のコースであり、登山初心者にとって、今後の登山に向けた良いトレーニングとなっていた。
- 登山ショップのインストラクターによって、植生や歴史に関するレクチャーがあり、参加者に好評であった。春などの他の季節の植生に変化もレクチャーすることで、別の季節の再来訪をうながすきっかけづくりとなっていた。
- 毎年の豪雨などの影響でコースの一部が通行困難な場所があり、より登山を楽しんでいくためのコースの改善に関する意見が確認できた。
- 初心者の中でも様々な段階があるため、もっと気軽に参加できるコースなど、コースに多様性が求められることがわかった。

アンケート回答者 内訳

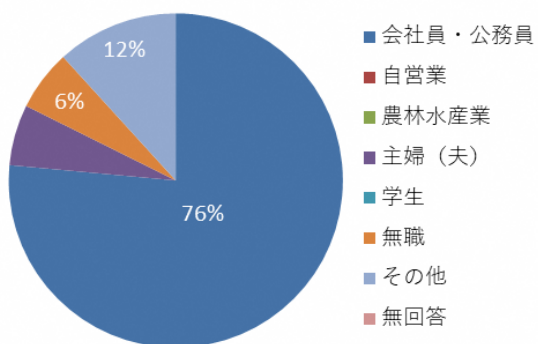
(1) 性別



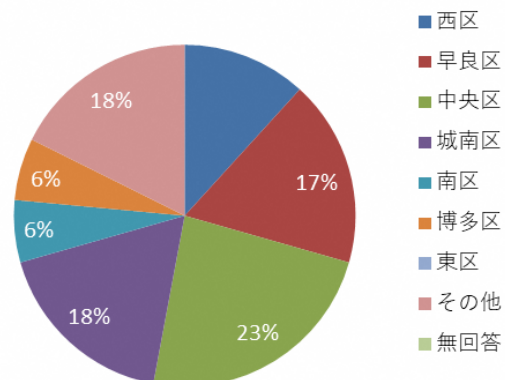
(2) 年代



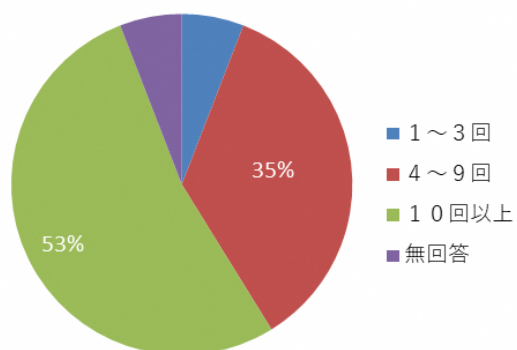
(3) 職業



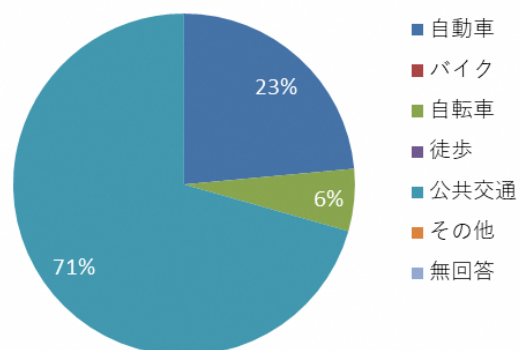
(4) 住まい



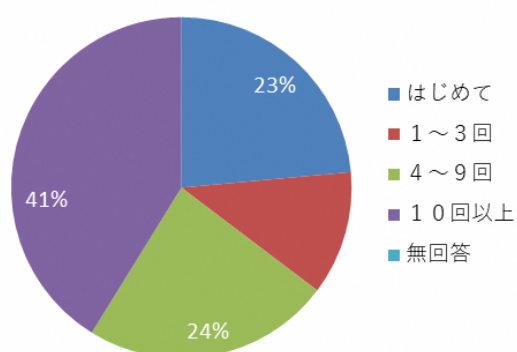
(1) 年間登山回数



(2) 交通手段



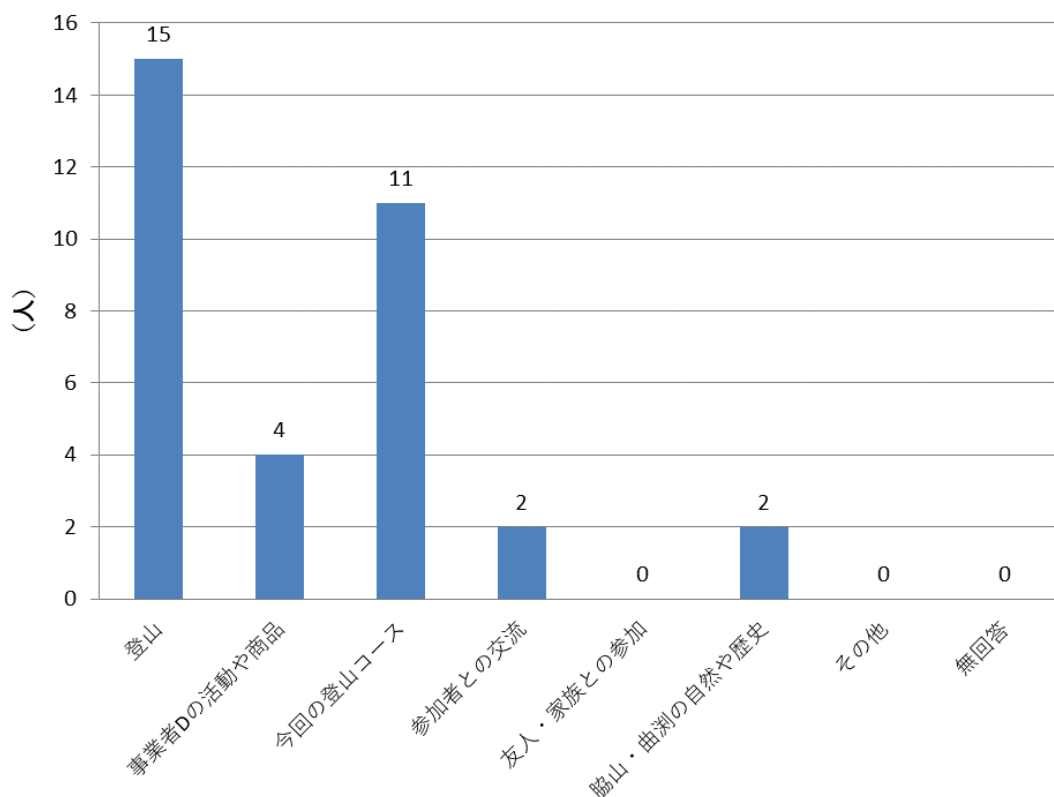
(3) 脇山・曲淵校区の
訪問



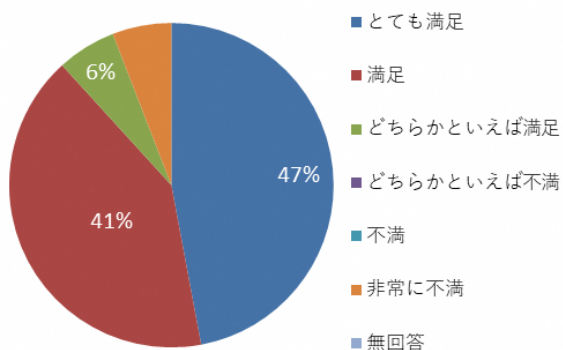
ダム、紅葉のきれいなところ、脊振山、脇山、山、
曲淵ダム、主基の里、そば屋、曲淵小学校の裏の川、
徳栄寺、じょうもんさん、とうふ屋、背振山

今回のイベントに関して

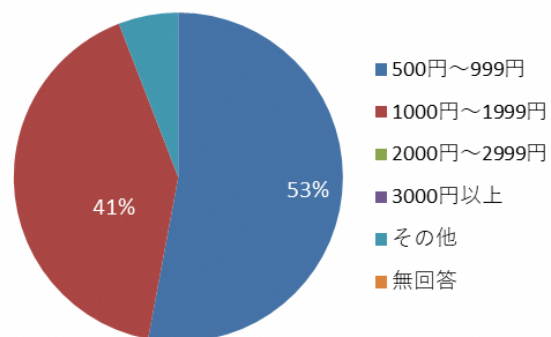
1) イベント参加の理由は？



(2) 満足度



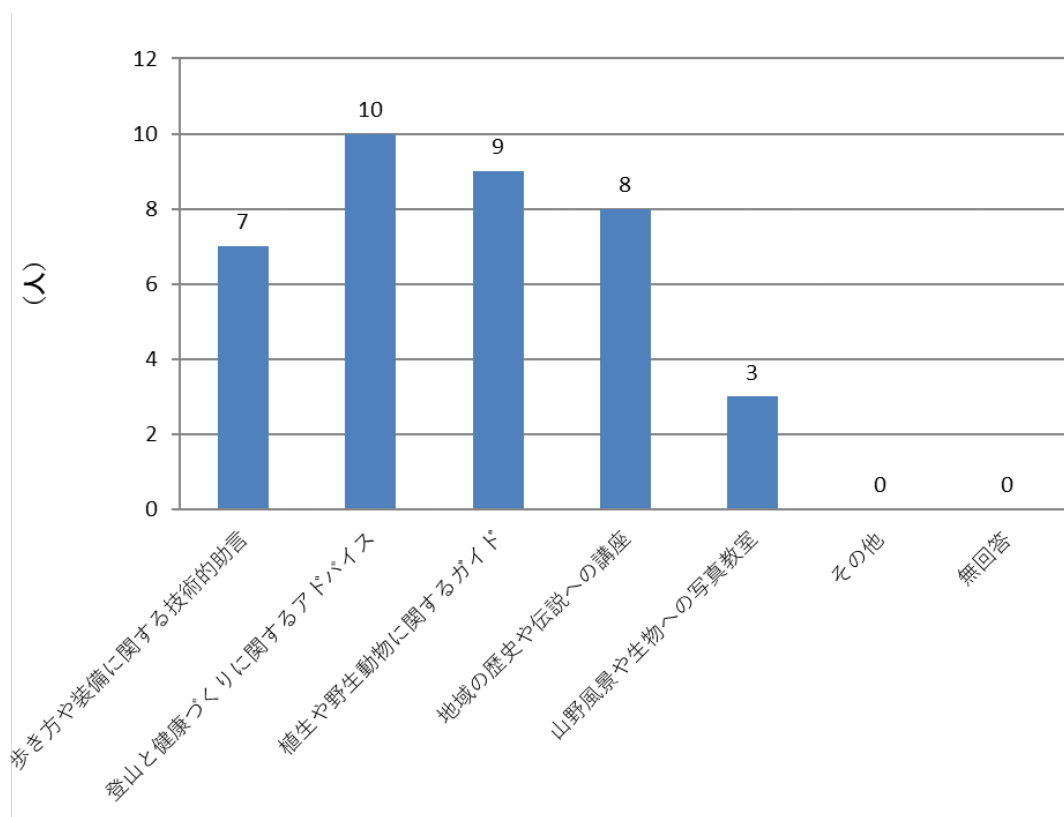
(3) 参加費



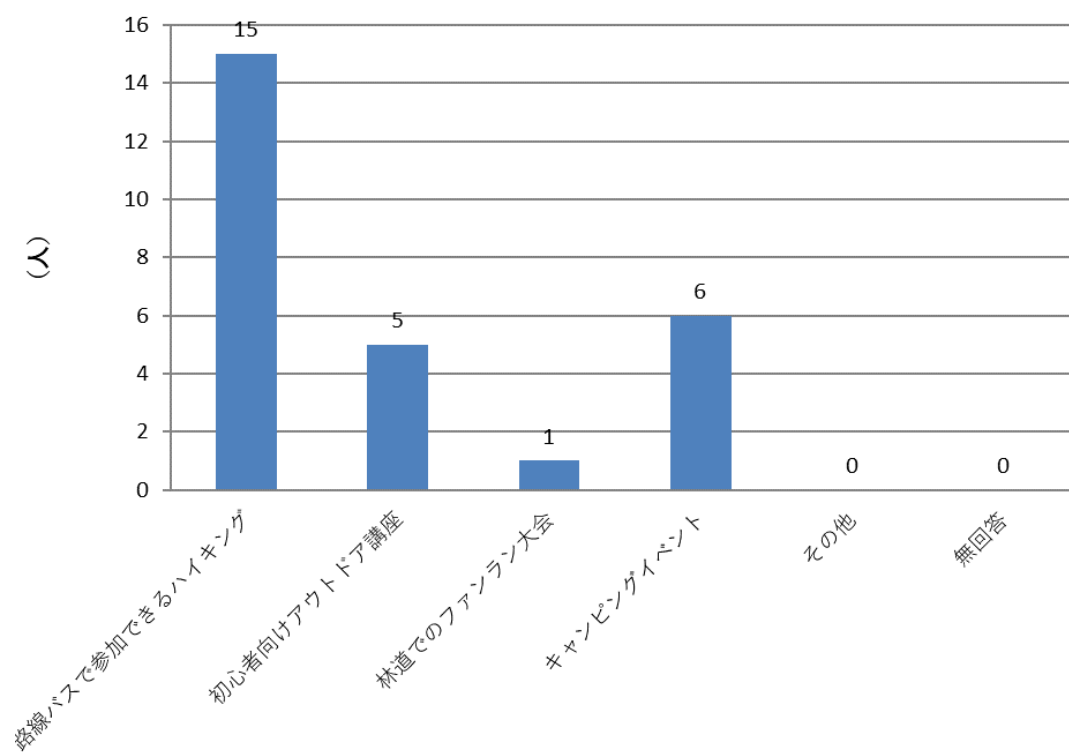
非常に不満：途中転倒による

今回のプログラムに関して

1) 次回のプログラムは？



2) 参加したい事業は？



自由記述

背振は登山初心者には敷居が高かったが、下意味が感じられるようになった。尾根道最高！

随分遠い所と思っていたけど、来てみると近く感じた。

登山が地域活性化となる事を初めて知りました。

初めての参加なので印象は変わりませんが、森林の中を歩くのはとても気持ちよかったです。

初めての山、行き帰りも厳しかった。

先生に植生について歴史について詳しく説明があり勉強になりました。「春には～」と季節ごとの変容も教えて頂き、季節を変えてまた楽しみたいと思いました。ありがとうございました。

沢に沿って歩く、渡るなど初めてでしたが、いい経験になりました。アドベンチャーコースですね。ありがとうございました。

金山には一度登ってみたかった。下りが、こんなに大変とは思いませんでした。

お世話になりました。とても楽しかったです。また次回参加したいと思います。

きついコースと聞いたので、散々迷って参加を決めました。前回は思いましたが、尾根道は本当に素晴らしいですね。沢沿いの道がなおるといいですね。

大雨で山道が崩れて歩きにくかった。

小瓜ルートは思ったより厳しかった。でも楽しかったです。こういうイベントでないといけないコースでした。

今回のルートの金山はハードルが高いように感じた。初心者のルートがあると良い。

■早良健康ツーリズムとの連携

早良区は、一人一人が楽しみながら主体的に健康づくりに取り組むために、福岡市早良区内の自然や食の魅力を生かした健康ツーリズムを毎年行っている。今年度に行った健康ツーリズムの内容と、実行委員会の支援の内容は以下の通りである。

実施内容

実施日：11月17日（日）

参加人数：18名

実施場所：木谷造園看板前・大谷口・野河内溪谷

体験内容：1.5 km程度のウォーキング、曲渕小学校での健康に関する講習、帰路時に早良みなみマルシェに参加

実行委員会の支援：記録撮影等



事業内容② 事業者マッチングに向けた意向調査

実施状況

事業内容②を進める中で、事業者との協議を継続している。

各事業者との意見交換の結果を以下に整理した。

事業者A

団体の概要：近隣の大型商業施設を管理運営する事業者

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	企業ファンの獲得や地域貢献の一環で行っている、顧客サービスの農体験を継続・拡大していきたい
事業の内容に関する印象	・地域の農作物の収穫体験や農地での定期的な栽培体験は、顧客サービス事業として行くと非常に需要が高いイベントとなる。 ・商業施設の集客イベントに地域の店舗が出店してもらえると魅力あるプログラムになる。特に、地域の名物となっている食品があると来館者が喜ぶ。
地域に対する印象や期待	・地域の特産品が収穫できたり、近くでおみやげに買って帰ることができる場所があると、参加者満足度が高くなる。 ・親子向けのサービスが展開出来ていけると良い。 ・現地で体験できるプログラムと、商業施設内でも体験できるプログラムの両方が検討できていけると良い。
事業者の課題等	・顧客サービスの取組みに関しては、それ自体には事業性がないため、実施規模や時期が年度によって異なってしまう場合がある。
取組みへの参画可能性	・農家と連携した農体験プログラム 例) 顧客サービスや福利厚生として実施する農地での収穫体験や栽培体験 ・校区内店舗と連携した地域PRイベント 例) 大型商業施設での集客イベントの際の地域PRイベント（平成31年5月の実施を検討）
試行プログラム実施後の意見	・親子向けの新たな体験型サービスのコンテンツが増えて良かった。今後も継続を検討したい。 ・商業施設内での体験（紅茶づくり体験）が実施できたため、次回は現地での農体験を検討したい。 ・商業施設内の物販と協力しながら、施設全体での産直イベントを連携して実施できると良い。



事業者B

団体の概要：全国に店舗展開するアウトドアブランドショップ。店舗運営だけではなく、老朽化したキャンプ場の再生やリニューアル、管理運営を手掛けており、アウトドアに関連する様々なイベントも実施している

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	人間と自然が豊かに触れあえる自然志向のライフスタイルを提案し、実現することを目指している。非常に質の高い商品と、アウトドアによる五感を通じた体験を様々な事業を通じて提供している
事業の内容に関する印象	・ 脇山校区の主基米をはじめとする農作物や田園風景といった資源は、アウトドアやキャンプとの相性が非常に良い。 ・ 曲淵にある野河内溪谷や小川での水遊びは、キャンプとの相性が非常に良い。 ・ 店舗が早良区にあることもあり、顧客向けのイベントサービスを実施する際に、南部地域はフィールドとして活用しやすい距離圏にある。
地域に対する印象や期待	・ アウトドアやキャンプイベントを実施する際に、地域の資源を活かした体験型のコンテンツと連携できると良い。 ・ 脇山野営場は、店舗の顧客に向けた利用方法として、初心者向けアウトドア講習会の他にも、本格的なキャンプ経験者向けにも魅力的な場所だと思う。 ・ 店舗が所在する大型商業施設内の、アウトドアアパレル等同士の交流会等にも脇山野営場を使ってみたい。
事業者の課題等	・ 福岡市内には市民のニーズに応えられるほど、キャンプ場が整備されていない。今回の実施場所（脇山野営場）が将来的にそのようなニーズに応えることができると良い。 ・ アウトドアへの入門編のイベントとして、日帰り圏内での焚火プログラムを検討したいが、火を扱える場所が限られてしまう。
取組みへの参画可能性	・ 脇山中央公園や曲淵小学校のようなイベント等で活用可能性のある資源を利用して、顧客向けの日帰りアウトドア体験のプログラムを実施する可能性はある。 ・ 地域の人と協力した農体験等とセットで行うことができるとなると良い。
試行プログラム実施後の意見	・ 福岡市内には市民のニーズに応えられるほど、キャンプ場が整備されていない。今回の実施場所（脇山野営場）が将来的にそのようなニーズに応えることができると良い。 ・ 脇山野営場は、店舗の顧客に向けた利用方法として、初心者向けアウトドア講習会の他にも、本格的なキャンプ経験者向けにも魅力的な場所だと思う。 ・ 店舗が所在する大型商業施設内の、アウトドアアパレル等同士の交流会等にも脇山野営場を使ってみたい。 ・ 令和2年度には、今回の実施場所でソロキャンプイベントを3～4回程度実施したい。（令和2年4月11、12日で事務局で試行的に実施。令和2年度のイベント計画を作成予定）



事業者C

団体の概要：全国に店舗展開する自転車メーカー。自転車及び部品・付属品の製造や販売のみならず、サイクリング文化の拡大を目指し、各店舗でサイクリングイベントを定期的に行っている

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	自転車を販売するだけではなく、自転車に乗ること自体を広げていきたい。そのためにも、自転車の楽しみを広げるイベントを展開しており、その場所も探している。会社としては今後店舗を増やしていく計画がある。また、九州や四国を数泊で1周するような旅行業も、関連会社と連携して実現させたい
事業の内容に関する印象	・ 早良南部地域は、サイクリストに人気のエリアであり、現在も多いと思う。 ・ イベントを展開していく上で良い地域なので、連携できることはあると思う。
地域に対する印象や期待	・ 山間部であるため、MTB（マウンテンバイク）のフィールドとなると、MTB（マウンテンバイク）サイクリストは喜ぶ。 ・ 脇山周辺はサイクリストにとって自然や食が豊かで、アップダウンも十分にある魅力的なエリアである。資源を改めて発掘して、コースづくりができると良い。 ・ 災害の影響で一部通行止めの道路があったが、通行できるようになったので、今後またサイクリストが増えてくる可能性は高い。 ・ 現在のメインターゲットは女性を設定しており、女性の購買意欲を高めるようなイベントや商品PRができると良い。
事業者の課題等	・ MTBサイクリストは、乗って楽しめる場所を探しているが、なかなか場所が見つからない。山林は個人の所有地も多く、現在は積極的に利用できない状況となっている。 ・ 自転車販売は約2年～3年前がピークであり、現在は伸び悩んでいる。特に、男性客が飽和状態になっていることから、女性顧客を増やしていきたいと考えている（女性は全体の1～2割）。また、電動付き自転車も流通させていきたい。
取組みへの参画可能性	・ 地域住民と協議、調整した上での山林を活用したマウンテンバイクのイベント実施やコースづくり（コース周辺の維持管理も含む） ・ サイクルイベントの開催や企業向けのサイクルガイドサービス事業の検討
試行プログラム実施後の意見	・ 脇山周辺はサイクリストにとって自然や食が豊かで、アップダウンも十分にある魅力的なエリアである。資源を改めて発掘して、コースづくりができると良い。 ・ 災害の影響で一部通行止めの道路があったが、通行できるようになったので、今後またサイクリストが増えてくる可能性は高い。 ・ 現在のメインターゲットは女性を設定しており、女性の購買意欲を高めるようなイベントや商品PRができると良い。 ・ 山道を活用したマウンテンバイクイベントやグラベルバイクイベント等を検討したい。地域で連携が可能な住民と繋がれると良い。利用する山道や周辺の維持管理は顧客と一緒にやる。



事業者D

団体の概要：背振山系も含む近隣での登山イベントを実施する登山・スキー用品の販売事業者

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	登山のファン化を深化させるため、背振を舞台に登山教室を毎年開催し、知識技術の習得を支援したい。
事業の内容に関する印象	・事業や個人での活動を問わず、登山イベントのフィールドとして背振山系は昔から利用してきた。背振山系の魅力をぜひ広げていきたい。 ・福岡は、全国でも有数の登山との関りが深い土地柄にあり、昔から登山に関わる人材や団体はある。 ・最近の登山のニーズとして若い世代が増えつつある。
地域に対する印象や期待	・背振山系は、福岡県の中でも有数の自然・植生が豊かな山地で、最も魅力的なフィールドといえる。 ・四季毎の自然の様々な魅力があるため、登山の上級者でも楽しめる。 ・公共交通の不便さやトイレのある駐車場といった拠点が少なく、イベントでの積極的な活用が難しい。
事業者の課題等	・登山教室等に一年を通じて参加し、登山のことを深く知っていく顧客を増やしたい。
取組みへの参画可能性	・地域や他の事業者等と連携して、アプローチ性の改善や離合集散の拠点づくりが進めば、積極的に登山イベントを展開していける。
試行プログラム実施後の意見	・脇山は市内でも最も魅力のある登山場所であり、継続的にイベントを行っていききたい。しかし、公共交通の便の悪さは課題になっているので、解消する方法を検討する必要がある。



事業者E

団体の概要：169 か国の国と地域で野外活動を通じた青少年育成活動を行う公益財団法人

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	団体の会員が特に若い世代で減っている。法人の活動をもっと知ってもらいたいと考えており、そのためには法人が所有する野営場等を活用して、アウトドアメーカー等と連携したイベントを展開していく必要があると思っている。
事業の内容に関する印象	・法人として、アウトドアメーカー等と連携した取組みを進めなければならないと考えていた。そのため、一緒に連携にアイデアを考えていきたい。
地域に対する印象や期待	・協山野営場は当法人が所有する施設であるが、年に数回程度しか活動できていない。今回の事業でのイベントをきっかけとして活用の可能性を広げるとともに、地域にも同時に知れてほしい。 ・これまでは団体の活動PRを十分に行っていなかったが、今後は積極的に取組みたいと考えている。その手法として、アウトドアメーカー等の事業者とつながりを持ちたいと思っていたところで、良いきっかけとなった。
事業者の課題等	・協山野営場を一般の人でも利用していけるように仕組みを作っていかなければならない。
取組みへの参画可能性	・協山野営場を活用したイベントがあれば積極的に連携していく。 ・法人のこれまでの活動内容を活かしたプログラムを提供できる機会があれば、積極的に参加したい。
試行プログラム実施後の意見	・これまでは団体の活動PRを十分に行っていなかったが、今後は積極的に取組みたい。その手法として、アウトドアメーカー等の事業者とつながりを持ちたいと思っていたところで、良いきっかけとなった。 ・協山野営場を、事業者がイベント等で使っていきながら、そこに団体としても連携が持てると良い。 ・協山野営場を一般開放に向けて活用プランを検討する良いきっかけとなった。この連携を持続していきたい。



事業者F

団体の概要：地域活性化に取り組む大手航空会社

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	地方活性化の取り組みによって、地域の魅力が高まることは、そこを訪れる人が増えることにつながる。そして、自社の旅客事業と上手くマッチングできていけると良いと考えている。
事業の内容に関する印象	・団体Gと連携し、数年前から早良区でのツアー事業を進めている。南部地域にも魅力的な資源があるため、その資源を活かしたツアーが継続・発展していけると良いと考えている。
地域に対する印象や期待	・平成30年度に早良区・団体Gと連携して、曲淵ダムパークを目的地としたウォーキングツアーを実施した。参加者の評価も良く、継続していきたいと考えている。
事業者の課題等	・魅力的なツアーとして継続していくためには、しっかりとテーマ性を検討していかなければならない。昨年度は健康がテーマであったが、今後はその質を高めるのか、もしくは異なるもので進めるのか、登山などと合わせて行うか等。協議を継続していきたい。
取組みへの参画可能性	・昨年度に引き続いて、ツアープログラムを検討したい。連携できることがあれば、積極的に行っていきたい。

事業者G

団体の概要：様々なツアーパッケージを持ち、多くの世代から利用される旅行会社

表：ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	地域の資源を発掘した、新しい魅力を体験できるツアープログラムを企画していきたい。
事業の内容に関する印象	・団体Fと連携し、数年前から早良区でのツアー事業を進めている。南部地域にも魅力的な資源があるため、その資源を活かしたツアーが継続・発展していけると良いと考えている。
地域に対する印象や期待	・平成30年度に早良区・団体Fと連携して、曲淵ダムパークを目的地としたウォーキングツアーを実施した。九州各地から予定通りの多くの参加者数が集まり、好評であった。今後も継続していきたい。
事業者の課題等	・リピーターも多い中で、内容が同じものを続けていても、参加者は減っていくことになる。新しい資源の活用や異なるテーマのもの、より質の高い内容等、変化が必要になっていく。
取組みへの参画可能性	・昨年度に引き続いて、ツアープログラムを検討したい。連携できることがあれば、積極的に行っていきたい。

事業内容③ 周知啓発の取組み

早良南部地域の魅力や本事業の取組み内容を周知する場として、区の広報誌での掲載を実施した。その状況は以下の通りである。

■区広報誌を活用したPR活動

事業内容①試行プログラムの運用による取組・体制作りでの、「アウトドア・健康をテーマとしたプログラム」の広報・募集を行う媒体として、区広報誌の「さわらの秋」を活用しており、各試行プログラムの掲載紙面に、本事業での取組みであることを記載している。（1万7000部発行）

さわらの秋（参考資料③：さわらの秋P1－2「さわらの自然を楽しもう！」）への掲載記事

☎092-712-8909

■福岡市関連団体主催の観光拠点づくり事業におけるシンポジウムでのパネラー登壇 （コロナウイルス拡大防止のためシンポジウム自体が中止）

福岡歴史資源活用協議会が主催する「2000年都市の歴史資源と地域共創シンポジウム」（令和2年2月20日）のパネルディスカッションのパネラーとして登壇、事業の説明を行う予定であったが、コロナウイルス拡大防止のため、シンポジウム自体が中止となった。

2000 年都市の歴史資源と 地域共創シンポジウム

早良みなみ編

令和 2 年
2 月 20 日
(木曜日)

14 時～17 時 開場は **13 時 30 分**
西南コミュニティセンター ホール
〒814-8511 福岡市早良区西新 6 丁目 西南学院大学 東キャンパス内
定員 200 名 (先着) 聴講無料

長い歴史を持つ福岡市は、多彩な文化財にめぐまれています。このシンポジウムでは、文化財を地域の活力や魅力につなげる様々な活動の成果と展望を紹介します。歴史と文化財が拓く地域の未来を、いっしょに考えてみませんか？

◆基調講演

榎本 元 氏 株式会社読売広告社 都市生活研究所 ECO
テーマ：シビックプライドとまちの資産

◆報告

水野 哲雄 福岡市 文化財活用課
テーマ：古文書から読み解く中世早良の村と人々

◆講演

清水 健太郎 氏 西日本新聞 マイタウン編集室
テーマ：タウン誌とまちの歴史と未来

◆パネルディスカッション

榎本 元 氏
馬場 雄治 氏 脇山あぐり倶楽部
清水 健太郎 氏

NPO 法人 環境文化プロジェクト機構 早良南部地域活性化実行委員会



主催：ふくおか歴史資源活用協議会 後援：早良区役所

お問い合わせ 福岡市経済観光文化局 文化財活用課

〒810-8620 福岡市中央区天神 1-8-1 電話 092-711-4982 FAX 092-733-5537



交通のごあんない

【市営地下鉄】

博多駅から約 13 分、天神駅から約 7 分。西新駅 (K04) 下車 (1 番出口) 徒歩約 15 分

【西鉄バス】

博多駅前 B のりばから約 35 分、天神三丁目から約 20 分。修猷館前下車徒歩約 5 分

公共交通機関をご利用ください。お車でお越しの際は、周辺のコインパーキングをご利用ください。



このシンポジウムは、「2000 年都市の歴史資源を活かした観光拠点づくり事業」の一環として開催します。令和元年度文化庁文化芸術振興費補助金「文化遺産総合活用推進事業」採択事業です。

2000 年都市の歴史資源と地域共創シンポジウム 案内チラシ

事業内容④ ガイドラインづくり

本事業のとりまとめとして、報告書および概要版に加えて、試行プログラムの成果を基に、早良南部の地域資源を活用した交流人口の拡大に向けた取組みの事例集を作成した。（参考資料●：令和2年度事業概要版）

事例①紅茶づくり体験

農や食に関するマッチング

近隣大型商業施設と連携した臨山茶の紅茶づくり・味わい体験



取組みの概要

臨山校区には市内で唯一紅茶を栽培する若手農家があります。その若手農家が体験指導する手づくりでの「紅茶づくり体験」を、近隣の大型商業施設で実施しました。大型商業施設運営者は本体験を顧客サービスの向上や企業（施設）ファンの獲得を目的として実施しました。

校区外事業者の役割

- 体験参加者への募集案内
- 体験参加者の申込受付
- 実施日までの調整連絡

地域団体の役割

- 紅茶づくり体験の講師
- 参加費相当の商品提供
- 臨山校区や生産物のPR

実行委員会の役割

- 運営主体間の連絡調整
- 取組内容の企画検討
- 当日の運営支援

参加者との関わり（実施の効果）

- 企業ファンやリピーターの獲得
- 臨山の農作物等のPR
- 臨山校区への来訪のきっかけづくり

【日時】 令和元年7月21日
【場所】 近隣大型商業施設内
【体験の内容】
 ・紅茶の茶もみ体験
 ・紅茶の発酵に関する学習
 ・臨山紅茶の試飲
【参加者数】 16組24名
【参加費】 参加者は無料
 事業者より農家へ費用支払

農や食に関するマッチング

事業者と地域の企画協議

紅茶づくりのレクチャー

紅茶の茶もみの実演講習

各参加者で茶もみに挑戦

もみ終わった茶葉の発酵

乾燥と美味しい入れ方実演

【アンケート等から確認できた参加者の属性や感想】

- 30代、40代の親子参加が9割以上を占めており、事業者Aの要望であった親子にニーズのある体験として高い満足度となるプログラムが提供できた。
- 今回の体験参加を通じて、臨山校区や臨山の生産物への興味が高まり、臨山校区への来訪のきっかけづくりとなる可能性があることが確認できた。
- 製品のみを提供するのではなく、親子等で協力しながら、参加者自身の手で作っていくプロセスを体験させることで、子どもへの教育や楽しみを高める効果があることが確認できた。
- 紅茶の発酵時間の合間に施設内で買い物ができる等、商業施設自体の利用促進に貢献できる取組みとして実施できた。
- 茶葉にさわりながら、茶葉の色の変化を目で見て、変化する香りを楽しみながら、最後は試飲できる、五感を刺激するイベントとしてとても喜ばれた。

【校区外事業者の意見】

- 親子向けの新たな体験型サービスのコンテンツとして、今後も継続したい。
- 商業施設内での体験が実施できたため、次回は現地での体験を検討したい。
- 商業施設内の物販と協力しながら、施設全体での産直イベントを連携して実施できると良い。

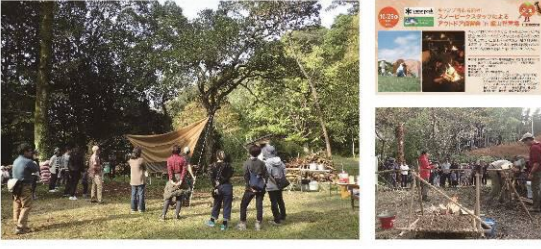
【地域団体の意見】

- 消費者と直接つながることのできる取組みを進めていきたいと考えていたところ、良い経験となった。
- 体験型のサービスは継続・発展させていきたいと考えているため、紅茶づくりだけではなく、積極的に広げていきたい。

事例②アウトドア講習会

アウトドアや自然に関するマッチング

アウトドア・ブランドと連携した臨山野営場でのキャンプ講習会



取組みの概要

全国に店舗を展開するアウトドアブランドと全世界で活動する公益財団法人（野外活動を通じた青少年育成活動を実施）と連携し、臨山野営場（公益財団法人所有）での初心者向けアウトドア講習会を実施しました。途中休憩や意見交換会では、臨山のお茶や新米を提供しました。

校区外事業者の役割

- 体験参加者への募集案内
- 体験参加者の申込受付
- 実施日までの調整連絡
- アウトドア講習会の企画運営

公益財団法人の役割

- 実施場所の提供
- 団体活動の紹介
- ロープワーク等のワークショップ

実行委員会の役割

- 運営主体間の連絡調整
- 取組内容の企画検討
- 当日の運営支援
- 早良区広報誌での募集案内

参加者との関わり（実施の効果）

- 自社商品PR、キャンパーの増加
- 施設の有効活用、団体のPR
- 臨山校区の資源活用、紹介

【日時】 令和元年10月26日
【場所】 臨山野営場
【体験の内容】
 ・事業者のアウトドア講習会
 ・公益財団法人のアウトドア講習会
 ・臨山のお茶や新米の試飲試食
 ・焚火を囲んでの意見交換
【参加者数】 11組31名
【参加費】 参加費 1名 ¥500

アウトドアや自然に関するマッチング

アウトドア講習会（事業者）

手作りのキャンプ設営

ロープワーク・ワークショップ

ああああああああああ

ああああああああああ

ああああああああああ

【アンケート等から確認できた参加者の属性や感想】

- 30代、40代の比較的真面目な世代を地域に呼び込むことができた。
- ほとんどの参加者がキャンプ経験が少なく、事業者の要望であった、初心者向け体験として高い満足度となるプログラムが提供できた。
- 組立の説明や実際のキャンプ時に使用した場合のイメージがしやすく、参加者がキャンプをはじめのきっかけづくりとなった。また、商品の購買意欲を高まった参加者も確認できた。
- 子供の教育の一環としてチームワーク等集団生活や自然を学ぶ活動への興味が高まった。
- 災害の時に役に立つ紐の結び方などの学びが深められた。
- 最低限の道具でできるアウトドア等の野外活動の魅力を知ることができた。また、その活動が知らないことへのもったいなさを感じる参加者が確認できた。
- 臨山校区のお茶やお米の魅力を知ってもらうことができ、購買意欲の向上につながった。

【校区外事業者の意見】

- 播磨市内には、市民のニーズに応えられるほどキャンプ場を整備されていない。臨山野営場が将来的にそのようなニーズに応えることができると良い。
- 令和2年度には、臨山野営場でソロキャンプイベントを3〜4回程度実施したい。

【地域団体の意見】

- 臨山野営場の活用や団体のPRに、アウトドアメーカー等の事業者と連携したいと考えていたところ、良いきっかけとなった。
- 臨山野営場を一般開放に向けて活用プランを検討する良いきっかけとなった。この連携を持続していきたい。

事例③サイクリングツアー



電動アシスト自転車の講習



野河内溪谷の散策



地域からのおもてなし



曲淵名物のそばの昼食



曲淵ダムパークの散策



おみやげ屋での特産品購入

【アンケート等から確認できた参加者の属性や感想】

- ・20代、30代の比較若い世代を地域に呼び込むことができた。
- ・ほとんどの参加者がサイクリング経験が少なく、事業者の要望であった、初心者向け体験として高い満足度となるプログラムが提供できた。
- ・早良郡に来たことがない参加者が多く、地域に呼び込むことができた。
- ・自転車の購入意欲や長距離サイクリングへの挑戦意欲を高めるきっかけとなった。
- ・地域の食事ができ、春の桜・秋の紅葉といった季節毎の景色が楽しめるプログラムへの参加意欲が高かった。
- ・山道にもかわる、最新の電動アシスト自転車で楽しむことができるとともに、自転車で遠くまで気軽にこれる景色が生まれていた。
- ・電動アシスト自転車で坂道の楽な運転や、自転車でスピードを感じることが参加者の喜びとなっていた。

【校区外事業者の意見】

- ・鶴山周辺はサイクリストにとって自然や食が豊かで、アップダウンも十分にある魅力的なエリアである。資源を改めて整理して、コースづくりができると良い。
- ・今回の、女性の購買意欲を高めるようなイベントや商品PRができると良い。
- ・山道を活用したマウンテンバイクイベントやグラベルバイクイベント等を検討したい。地域で連携が可能な住民と繋げると良い。利用する山道や周辺の維持管理は顧客と一緒にやる。

アウトドアや自然に関するマッチング

自転車メーカーと連携した初心者向けのさわら満喫ライド

事例④初心者向け登山講習会

アウトドアや自然に関するマッチング

登山ショップと連携した初心者向け登山プログラム



取組みの概要

福岡市の老舗登山ショップの主催による、初心者向けの青楓山系登山プログラム。金山や青楓山の峻険に広がるブナ林等の眺望が楽しめる行程で、自然の中で健康と感動を味わうことのできるコースです。登山ショップのインストラクターによる登山や地域の様々なレクチャーが楽しめました。

- 校区外事業者の役割
- ・体験参加者への募集案内
 - ・体験参加者の申込受付
 - ・必要な備品などの紹介、販売
 - ・実施日までの調整連絡
 - ・登山のインストラクター

- 参加者との関わり（実施の効果）
- ・登山客や店舗ファンの獲得
 - ・魅力的な登山コースの紹介
 - ・鶴山校区への来訪のきっかけづくり

【日時】 ①令和元年10月27日
②令和元年11月7日
【場所】 青楓山、金山
【体験の内容】
・登山スキルのレクチャー
・登山コース上の生きもの講習
・地域の歴史に関する講習
【参加者数】 17名
【参加費】 1人¥500（傷害保険等）

- 実行委員会の役割
- ・運営主体間の連絡調整
 - ・取組み内容の企画検討
 - ・当日の運営支援



挨拶・コースの説明等



自然の豊かな満喫みの登山道



コース道の植物に関する講習



コースや歴史等の講習



山頂での食事休憩



登山スキルアップの講習

【アンケート等から確認できた参加者の属性や感想】

- ・ほとんどの参加者が登山経験が少なく、事業者の要望であった、初心者向け体験として高い満足度となるプログラムが提供できた。
- ・両コースともしっかりとした行程のコースであり、登山初心者にとって、今後の登山に向けた良いトレーニングとなっていた。
- ・登山ショップのインストラクターによって、植生や歴史に関する詳しいレクチャーがあり、参加者に好評であった。春等の他の季節ごとの変更もレクチャーし、別の季節の再来訪をうながすきっかけづくりとなっていた。
- ・毎年の豪雨などの影響でコースの一部が通行が困難な場所もあり、より登山を楽しんでいくための登山コース改善に関する意見が確認できた。
- ・初心者の中でも様々な段階があるため、もっと気軽に参加できるコースなど、コースに多様性が求められることがわかった。

【校区外事業者の意見】

- ・鶴山は市内でも最も魅力のある登山コースであり、継続的にイベントを行ってきたい。しかし、公共交通の便の悪さは課題になっているので、解消する方法を検討する必要がある。
- ・店舗で募集・運営している他の登山イベントに参加している参加者も多くみられた。このようなイベントを継続すると、リピーターの獲得や店舗の利用定着に結び付く。
- ・下山後に、地元の食材を購入できるようなお店や機会があるととても良いが、今のままでは難しい。

5. 事業の達成状況（8月末現在）

令和元年8月末時点での成果を以下に示す。また、事業を進めるにあたって、協議を行った日付・参加者・協議内容の一覧を参考資料④に示した。

＜成果指標＞

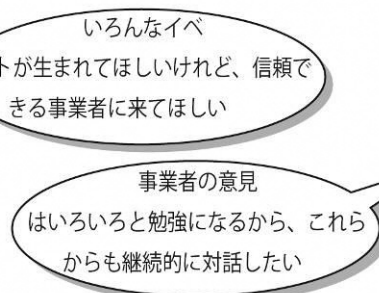
赤字：目標達成済みの項目 青字：年度末の達成の見込み

成果指標	達成状況					
	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
①ワークショップへの参加者数	120	60	120	142	120	-
②アンケートを実施した事業者数	30	18	40	18	50	-
③ヒアリングを実施した事業者数 （同社への複数回のヒアリングを含めた場合）	5	15 (20)	10	18 (30)	15	-
④試行プログラムの実施数 ※	0	0	2	6	6	-
⑤地域イベントや事業者と連携し、取組を周知した回数	0	0	3	7	5	-
⑥新たに連携した事業者数	0	0	4	4	8	-

※平成30年度事業で把握した地域ニーズを踏まえ、空き家や遊休地といった既存ストックの活用のみならず、交流人口の拡大の視点で広く実施することとした

①ワークショップへの参加回数

平成30年度の計画時は、幅広い地域住民参加によるワークショップ開催を予定していたが、地域との事前協議や勉強会等での地域住民との意見交換の結果、「事業連携の可能性が高い住民や地域団体と実効性の高い取組みを先行して進める」こととなったため、個別での意見交換会に重点を置いている。そのため、実績の数字は低くなっているが、より具体的な地域の要望や課題は抽出できている（参考資料①：平成30年度事業概要版）。また、試行プログラムへの参加者との意見交換やアンケートによる意見収集を行っている（紅茶づくり体験24名、アウトドア講習会31名、サイクリングツアー10名、登山プログラム17名 計）。



②アンケートを実施した事業者数、③ヒアリングを実施した事業者数

より実行力を高めるため、具体的な連携可能性が高い事業者と直接意見交換を行うヒアリングを重視した。そのため、ヒアリングする事業者を予定数より増やし、具体的な活動の実施に向けて取組んでいる。

④試行プログラムの実施数

令和元年8月末時点で実施できた試行プログラムとして、農・食をテーマとしたプログラムを2プログラム実施できている（P5～8）。茶摘み・茶もみ体験は実施が確定していたが、悪天候の急遽な中止のため、実施数として計上している）。また、アウトドア・健康をテーマとしたプログラムが4プログラム（P10～14 登山プログラムは計2階実施）の実施ができた。

⑤地域イベントや事業者と連携し、取組みを周知した回数

アウトドア・健康をテーマとしたプログラムの広報・募集を行う媒体として、区広報誌「さわらの秋」への掲載が実施できた。また、④の各プログラムの際に、参加者に向けた本事業の取組み周知を行った（計6回）。

⑥新たに連携した事業者数

試行プログラムを実施する主体となる事業者として、今年度は5者との連携ができている（団体A～E、P16～19）。また、昨年度に引き続き、F社及びG社（P20）と連携した、早良南部のウォーキングイベントの実施検討を行っている。

6. 令和2年度への展開と目指すべき共働のかたち

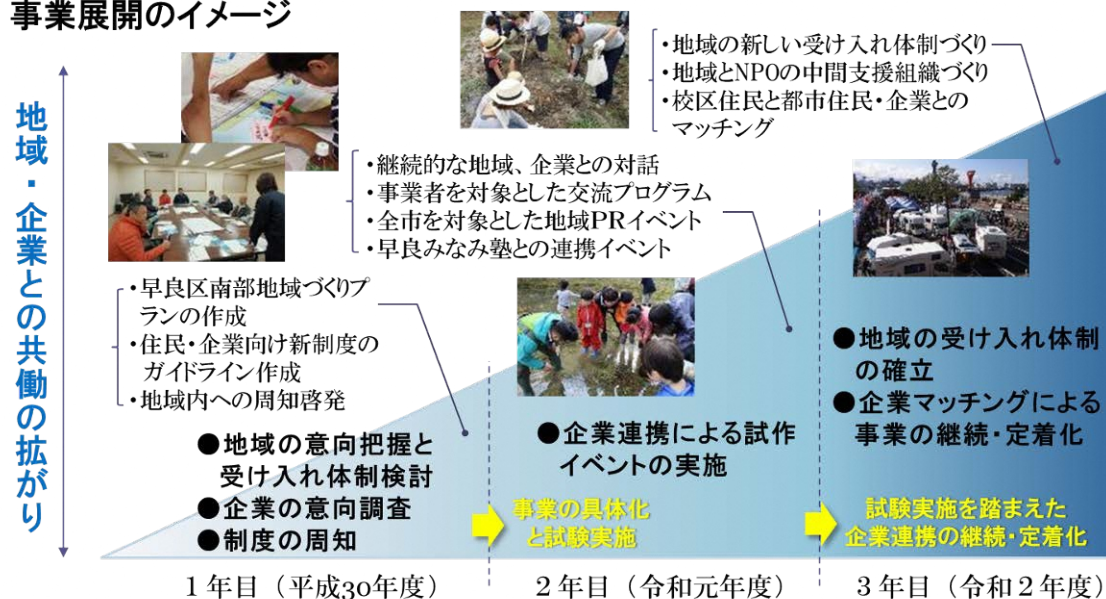
令和2年度については、これまでの取組みを踏まえ、共働事業として試行や対話を継続しながら、早良南部地域における持続可能な体制（プラットフォーム）づくりを検討していく。ここでは、地域やNPOが校区住民と都市住民、事業者のニーズをマッチングする活動へと展開することを目指し、関係主体が連携しながら交流人口拡大に向けた施策を検討していく場としての協議会を立ち上げるなど、地域と共に検討を進めるものとする。

また、共働事業終了後は、検討・試行された、地域住民や新しい団体・企業等が連携する取組を、地域が主体となって実施できるようNPOが活動支援を行う。将来的には、新規事業を始め、移住・定住等に対する地域内外のニーズをマッチングさせる中間支援組織としての体制を目指していく。

■令和2年度の事業目標

- 都市部事業者や市民・地域との持続的な事業の構築
- 継続的な地域や事業者との対話を通じた協議会の体制検討
- 都市部への周知・啓発の取組み継続及び拡大

事業展開のイメージ



交流人口の拡大に向けた事業を継続・拡大していくためには、共働提案事業が終了した令和3年度以降も、地域住民や新しい団体・企業等が連携する取組を、地域が主体となって実施できる仕組みを構築しなければならない。そのためには、本事業で連携した地域住民及び団体、事業者、NPOからなる協議会を立ち上げ、共働の環を広げていく体制づくりと持続・発展性のある事業主体を構築することが必要である。令和2年度に目指す、共働の環を生み出す協議会の構成イメージは以下の通りである。

●構成メンバーと役割

- ・地域代表者：農家代表、飲食店経営者代表、校区まちづくり協議会、農協青年部、早良商工会、早良みなみマルシェ実行委員会、早良みなみ塾等。事業者が主催するプログラムに対して地域資源を活かした市民サービスを提供していく。
- ・事業者：農・食関連、アウトドア・自然関連の事業者等、共働事業で連携した事業者を中心に、拡大を図っていく。各事業者の有する顧客や自社の従業員等が参加するプログラムの実施主体となる。
- ・早良区：令和2年度までは実行委員会として参加し、令和3年度以降はオブザーバーとして参加。プログラムを実施する上で、行政の関連事業との連携を支援する（市街化調整区域の新制度等）。
- ・NPO：令和2年度までは実行委員会として参加し、令和3年度以降はNPO単独で参加。協議会の運営や部会運営における地域代表と事業者間の調整を行う。

